

蓬州舊勝錄 十七



共拾九冊

第四冊

備 用 場	品 目	調 製 年 月 日	費 第 三 號
文 書 課		昭 和 年 月 日	

294
ス
1-17



蒼州舊集

共十九冊

中
卷
七
十一

第一千九百七十四號

15226



勝 源 卷之十三

津島町編集

那部

之奈加

金山岳

尾張國西府ハ中洛那子行程上
 七日下四日ト云 ○義和神戶并所
 小塞乎世 三宅 菫部 阿加奈倍
 石宿以之豆久利 日理 川崎

延喜式神名帳云三拾陸大座山二十七座南程

坂見努^ぬ裳^み咋^わ大神^{たかみかみ} 名^な大^{おほ} 新^{あらた}除^と夜^よ

之^{この}田^の波^は藤^{ふじ}伎^ぎ 大^{おほ}神^{かみ} 針^{はり}熊^{くま}之^の留^{りゆう} 神^{かみ}見^み

波^は藤^{ふじ}伎^ぎ 浅^{あさ}井^い 大^{おほ}口^{くち} 賣^う又^{また} 酒^{さけ}見^み

真^{まこと}志^{こころ}田^の名^な部^ぶ大^{おほ} 川^{かみ} 酒^{さけ}見^み 浅^{あさ}井^い



A294
 又
 1-17

久多 堀治 石地 小地 堀江 大御靈
布衣 宗形 堀 鞠江 大御靈
尾張大御靈

當郡 高拾貳万肆千六百八石七斗七合

寺社 高拾八石五斗七升七合

田 二百八石五斗七升七合 御座 二百八石五斗七升七合

当郡村 號凡 百拾貳色附 大柄庄 御座 村今 隸美濃國

少市場 有雲 米屋 七ツ寺 少時 牛踏

小代 柳屋 堀内 福橋 井崎 今村

板甚目 井坂 後長 片原 須谷 樽尾

丸瀬 佐瀬 中山 中丸 中丸

上新 齋上新 甲新 一福 西新 指田

中ノ庄 堀田 大矢 込地 福海 山越

南越 板田 城角 三宅 目比 氷室

東城 平代 埋振 膳膳 高光坊 下起

堀川 古三村 高角 正徳 西村 桑田

三浦 三浦 小海 稲巻 橋本 石橋 白鳥

西浦 高木 串作 萩原 福川 三浦

玉池 橋本 葉込 三雲 池村 三浦

竹橋 天池 (正村) 井口 長野 長束

二高丸 子生和 治村 稲橋 松下 本倉

古宮 西宮 少年 南宮 林野 三子

胡宮 板倉 今村 東古城 西古城 起村

蒲田 祐久 石古井 蓮池 西森 吉友

(正村) 下池 赤池 陸田 氏永 如保

戸塚 妙母 (宮池) 郡府 小栗 栗村

中山 宮新田 (刈田) 福美 馬引 一色

一宮 中津戸 新津戸 馬場 宮後 毛交

花井方 富田方 刈田 一宮 日吉 中津

大塚 平野 他部 松池 主本 少寺

船橋 矢合 平村 下屋 海井

山口 馬場 中畑 西滝 山崎 上野文江

上野文江 上牧 中牧 日貴 北野津 橋方

寺田 二俣 大牧 野田 柳本沼 杉中

河田方 一船 一海老 海邊 川成 村芝 村卯

右色 枝野 宗兼 方角 赤坂 乃法 寺 虎持

一 西市 橋村 十形 屋村 一 刈 山 野村 極 山 村

一 西 沼 村 津 沼 村 西 入 村

一 吉 成 村 村の末の方土所盛土形

一 山 湯 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

一 西 原 村 村の末の方土所盛土形

村の末の方土所盛土形

一 一 丁 之 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 西 山 村 村の末の方土所盛土形

一 高木村
村の申方三丁 聚八歩

一 聖村
村の申方三丁 聚六歩

一 中橋村
村の申方三丁 聚四歩

一 川西村
村の申方三丁 聚四歩

一 北方村
村の申方三丁 聚四歩

一 大平村
村の申方三丁 聚四歩

一 高山村
村の申方三丁 聚四歩

一 同正村
村の申方三丁 聚四歩

一 高尾村
村の申方三丁 聚四歩

一 内山村
村の申方三丁 聚四歩

一 目久井村
村の申方三丁 聚四歩

一 山形村
村の申方三丁 聚四歩

一 馬場村
村の申方三丁 聚四歩

一 山形村
村の申方三丁 聚四歩

一 小橋村
村の申方三丁 聚四歩

一 仁井村
村の申方三丁 聚四歩

一 二ツ原村
村の申方三丁 聚四歩

一 串原村
村の申方三丁 聚四歩

一 芝原村
村の申方三丁 聚四歩

一 古田村
村の申方三丁 聚四歩

一 甲野村
村の申方三丁 聚四歩

一 同正村
村の申方三丁 聚四歩

一 西申村
村の申方三丁 聚四歩

一 松平村
村の申方三丁 聚四歩

一 高尾村
村の申方三丁 聚四歩

一 同正村
村の申方三丁 聚四歩

一 同正村
村の申方三丁 聚四歩

○ 尚取 洲 謂 人 而 德 略 之 分

山胡麻那目 羅平 山德村

中洛左衛門尉宮長 中洛村

滿井新八郎 刈田村

同 田之丸 日

蒲生源兵衛 了之村

同 山中島高 日

大塚持重 日

本令又良 尾根 龜形村

栗田三吉 栗田村

久田伴世 玉街村

尾尾左馬次 栗田村

垣川勘十郎 玉街村

長谷川孫八郎 栗田村

武藏源兵衛 馬場村

武藏源兵衛 日

西田加賀守 日

大橋平吉 日

增田源兵衛 日

安井源吉 安井村

坪内源吉 吉原村

吉田之丞 吉田村

垣川源吉 吉原村

同 若手 吉原村

長束右衛門 長束村

毛利伴清 毛利村

友田新太郎 友田村

加藤源吉 加藤村

加藤源吉 加藤村

横井作左衛門 横井村

堀監物 堀村

毛利掃部 大治村

加賀源八郎 加賀村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

海軍又衛 海軍村

福清丹波寺

福清村

祖文江福太郎

祖文江村

当郡古城之志略

大谷村

(福川州新井藩在城址今五反歩)

通海村

(豊田藩人居城址今五反歩)

坂田村

陸奥市島原藩在城

山湯村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

福清村

久田藩在村

(郡古色河津藩在城址今五反歩)

井堀村

橋本藩在村

上祖文江村 陸奥市島原藩在城

竹御村

祖文江藩在村

古原村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

中津村

橋本藩在村

花野村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

片原一色村

橋本藩在村

陸田村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

高橋村

祖文江藩在村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

陸田村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

高橋村

(陸奥市島原藩在城址今五反歩)

同城址今五反歩

坂田村

陸奥市島原藩在城

紀ノ長谷雄四十二世左衛門督紀伊守義朝

氷室村

陸奥市島原藩在城

子従父終上陸奥守紀之高塔中津藩

平井村

陸奥市島原藩在城

坂田邑：信長是坂田氏の先祖之平井村

平井村 陸奥市島原藩在城 信長是坂田氏の先祖之平井村 陸奥市島原藩在城 信長是坂田氏の先祖之平井村

苗那五嶺ノ渡

この他那、属は凡そ古書に
兼ふのほ勿備苗那の内なり

大吹ノ渡

榊ノ渡

物温ノ渡

板橋ノ渡

手取ノ渡

大正ノ渡

食ノ渡

番保ノ渡

市河前ノ渡

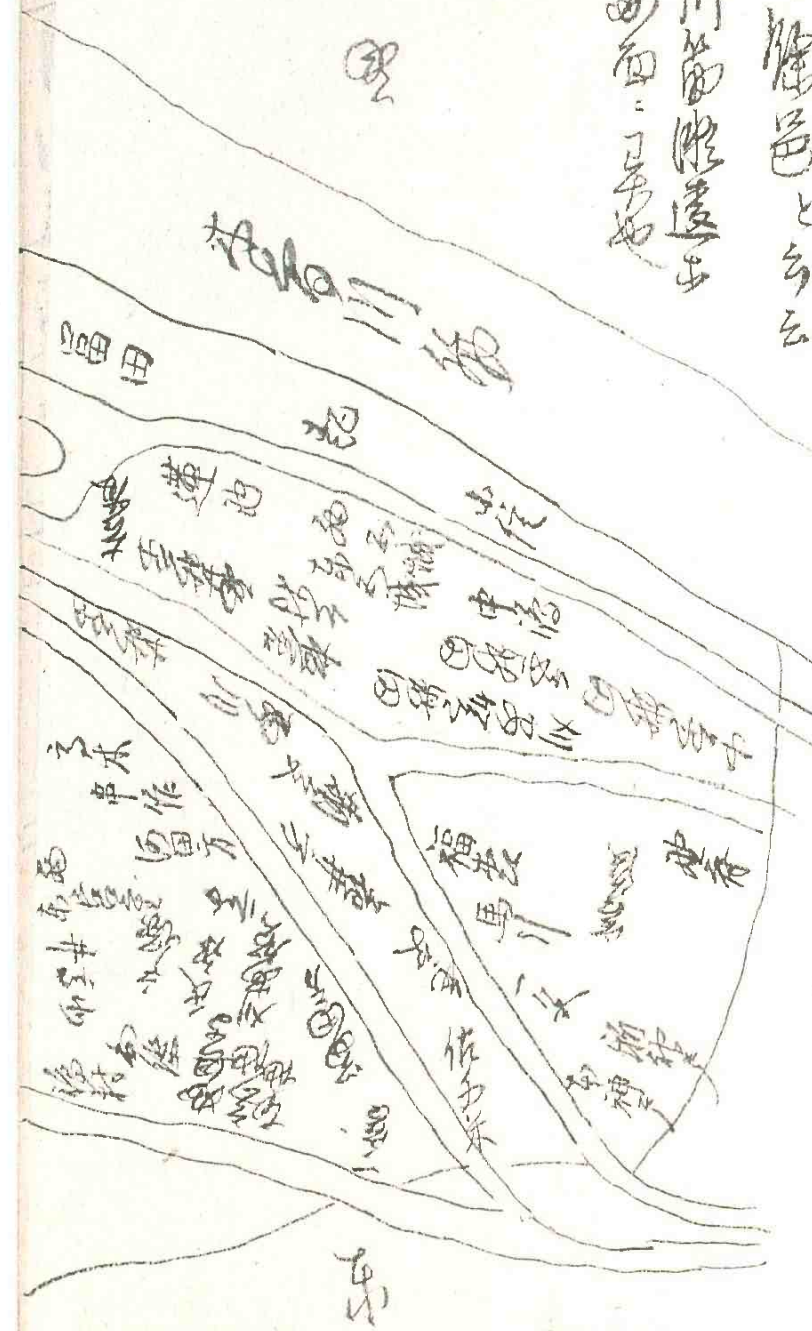
(兼ふの嶺に物温は多し此は) 尉國々共此方御踏ハ
(由田より内武蔵新ノトミ) 遠河より御守相島ニ
(目筑後を多し) 尉國六ノ方ノ御守の方ニ今全將共相
(次第乃の長瀬判官及儀之御守守之島ニ
(今法目代帯刀島尉神守) 入込又二ノ御守守
島々々々々々々

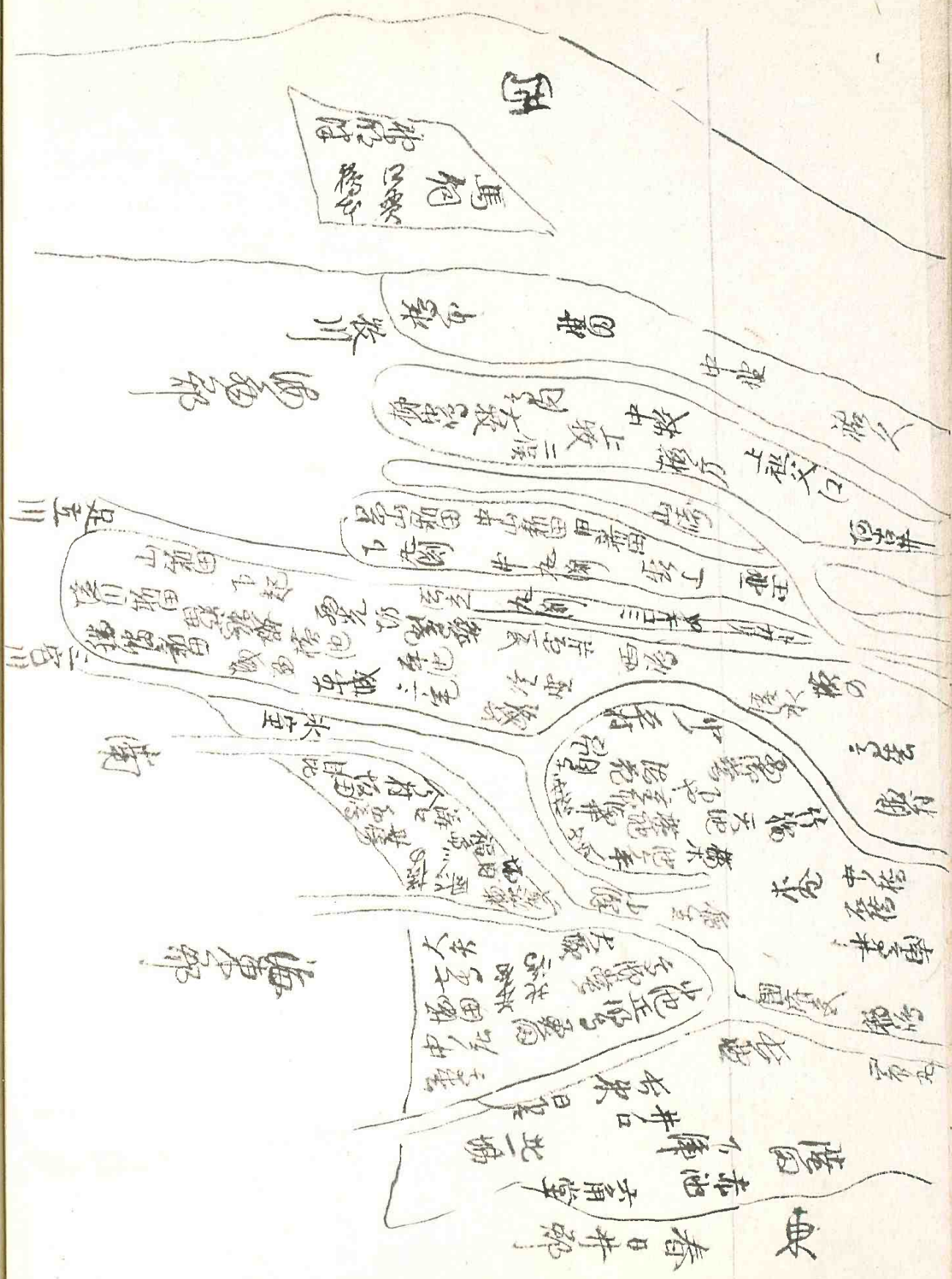
苗那河多島ノ判官代目方ノ尉國々
岡后河門尉島々々

一中大正建一信 御守守赤康 卒乃多判官流義
下流前日登船 御守守島島島 内最なる御守守
此方先陣是利少島々々島島島 山根山
四島ノ尉河波守入込又二ノ御守守
一中州股 流義在込 水津在込 山根山
重忠河内判官代秀 此方
加島河津前可先定 五百金騎島々々

苗那在重那郡南丹郡石河東郡之北東南向
界河而隣春日井那、西東岐州川届西南接他
海西郡
重那亦云云以是那中一
半入濃州地矣
今那中凡二拾一庄
一百二十餘邑と云云

近世川筋繪遺
土苗島西二日





○正一位 真馬田神社

祭神一座 大己貴命

社殿古執所謂素盞烏命より天下經營百穀守護亦
為「医藥」大祖

今社殿為「伊智」是後世祠官所配高也

- 中一 國常立命
- 中二 大己貴命
- 中三 大籠命
- 中四 娘神命

天照国照差、大明命、稱「當州」一宮、風古記云「當一宮」

高橋岡大神、正一位祭天神地祇、正一位各州の

一宮八常神、天皇時、延喜、神社延喜式、正一位各州大、
而云、文德実録、文德帝、朝仁壽元年十一月辛巳詔賜
尾張高橋岡神到官社、高橋岡、高橋岡、時。

考降、庄
一宮邑、結庄

一宮記、後、真馬田氏
の始祖也

令別珠西殿号正一位高僧因大御
 三仗家系
 貞觀元年高僧因相皇令雄賜姓大御
 大田(根子)今之後之
 大田(根子)相皇高僧因相皇
 相皇也 惟氏高僧因相皇首及高僧因相皇
 異之類

大宮 源の殿 勅使殿 拜殿 瑞也 大宮神

御供所 横門 隆様 (供養文明十二年辛巳十二月二十七日六二卷高僧因相皇)

栴社 (境目十三卷) 栴社 (古株)

東神宮寺 業師 高 栴社の寺 栴社

八幡宮 (栴社) 栴社 (古株) 栴社 (古株) 栴社 (古株)

○ 栴社 古キ品を記ス 栴社の栴社栴社栴社

一 御幣一巾 栴社云云 一 口盆盆 栴社云云

一 以縁起二巻 正殿并 一 御牌札 三枚

一 以席風 一 御劔 正宗

一 以割札 正宗 一 護玉圖 栴社云云

一 以御劔 正宗 一 神鏡 十二面

一 水糝石 一箇 一 菊鏡 一面

一 八仙還返聖御蘇利貴徳 日蓮上人書
 散り書(波木の蘇利貴の
 面二十三箇) 栴社云云

一 靈鏡 二面 一 古風鏡板あり

一 法苑經一紙入書 弘法大師筆 金匱御筆御奉 一 紺紙金泥大般若經 三卷

一 弘法大師御書普賢像一幅 一 南無善持 板あり

一 紺紙金泥普賢經一巻 一 如奥寺用山子洞杖

一 紙ノ多ク并 一 志柄去刀ノ鞘

一 法苑經一紙也 格紙御筆 弘法大師筆少巻 一 因月舍利 隆徳天皇御奉

一 赤雲御進帳 お色ノ圖ノ下ノ御奉進帳あり 一 額 真徳因大臣 弘法大師御奉御奉

一 雪舟御書墨馬 御奉

御奉 御奉 御奉 三百三十二石五分金 隆徳天皇御奉 弘法大師御奉

高麗石長長六子年有長 格紙板御奉

同 石五枚 寛永自中迄 源紙板御奉

寛永十六年三月十六日 義正云 御奉

寛永五年七月十日 已後 寛永十二年六月十日 御奉

御奉 御奉 御奉 御奉 御奉 御奉

同 三十三石五分 御奉

同 七石五分 御奉

同 七石五分 御奉

并諸人強分中坊等 御奉

同 十六石七分 車掛

同 五石五分 御奉

同 四石五分 御奉

同 石五分 御奉

○福地志 神國 相話

今断終不出世乎姓、因氏家世、其之族、氏族、佐、利、氏、為、神、之、至、今、持、其

相話

佐、利、氏、系

中老七人

神官二人
 佐、利、氏、一、之、權
 神、戶、二、之、權
 林、三、之、權
 神、戶、大、祝
 伴、少、之、祝
 若、田、氏、之、祝

伴、利、氏、
 久、古、長、我
 橋、河、海、邊
 若、村、西、馬
 神、戶、元、馬
 若、田、氏、
 大、門、大、以

神、戶、大、別、當
 林、山、別、當
 若、田、借、山、西
 芝、田、檢、山
 伴、利、氏、西、馬
 若、田、氏、別、當

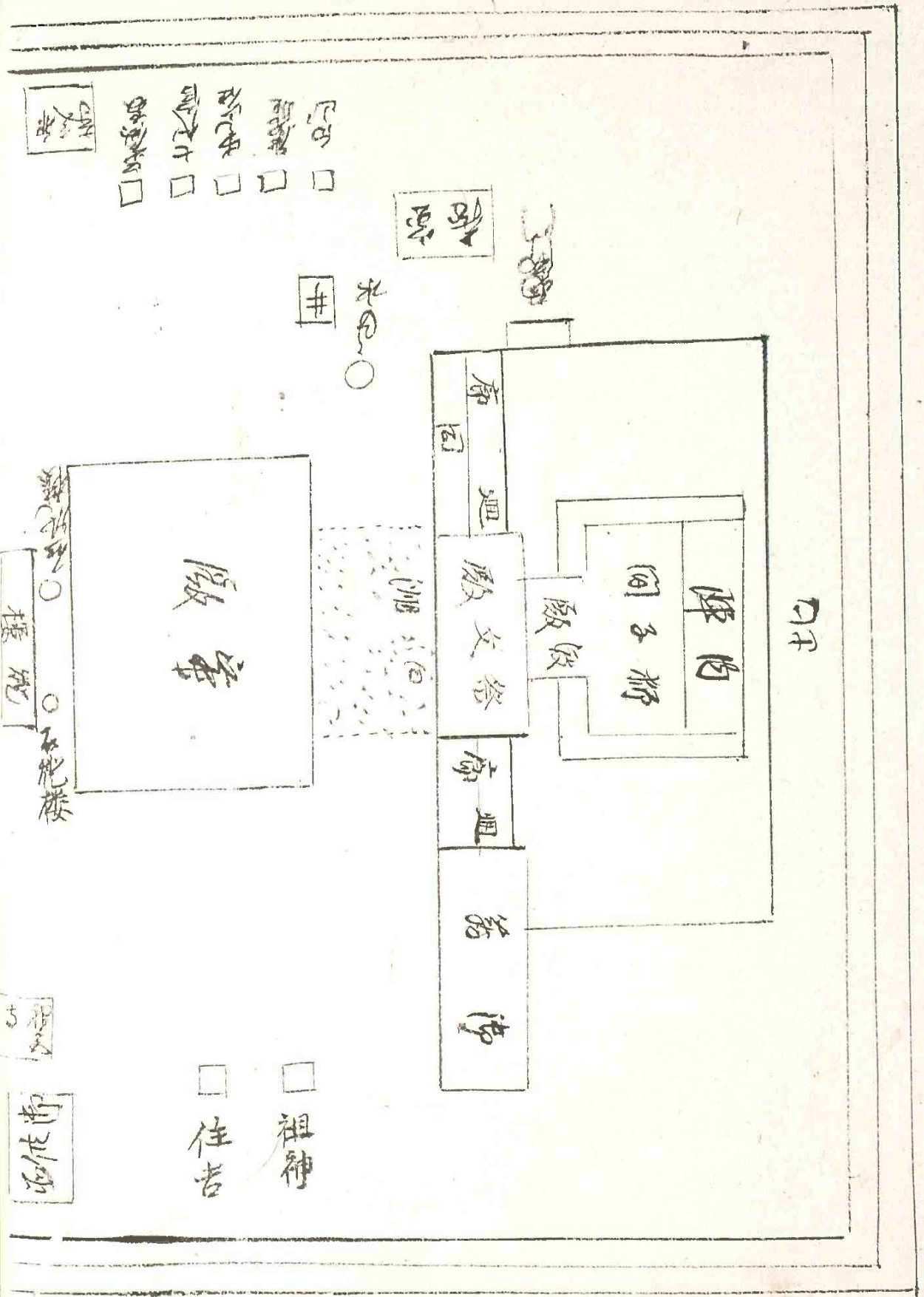
久、古、長、我
 若、田、氏、
 若、村、西、馬
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、

神官七人
 松、村、氏、之、權
 若、田、氏、之、權
 若、田、氏、之、權
 若、田、氏、之、權
 若、田、氏、之、權
 若、田、氏、之、權
 若、田、氏、之、權

若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、

若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、

若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、
 若、田、氏、

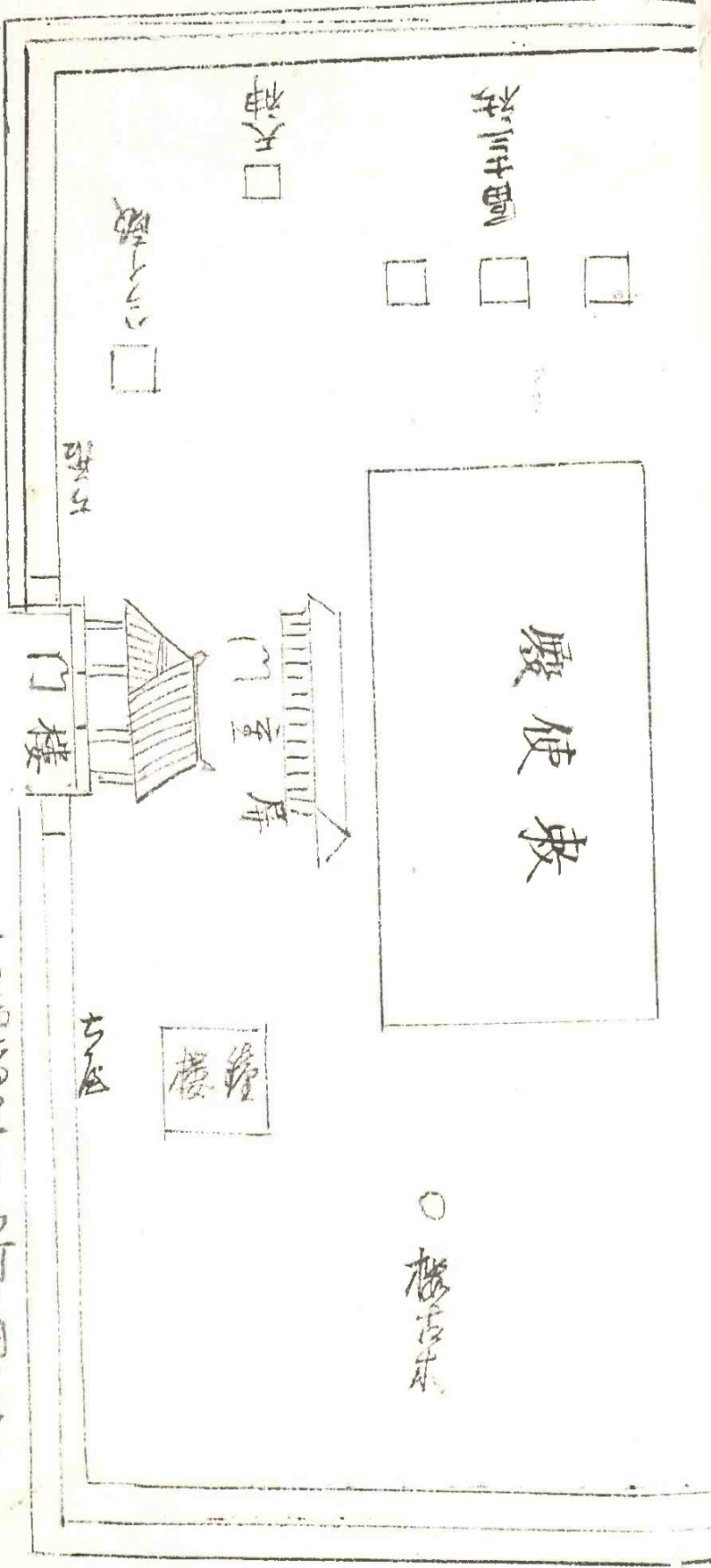


住家
水井
井
祖神
住吉

殿
齋

御所
御殿
御子齋
廊
齋
殿
齋
廊
齋
齋

櫓



天神
御所

敷使敷

櫓

櫓

敷使敷
櫓
櫓

敷使敷

一 馬櫓の今より下町ノ内ニ在リ
 一 馬櫓ヨリ登ルノ石ノ上ニ在リ
 一 敷使敷ヨリ登ルノ石ノ上ニ在リ
 一 敷使敷ノ内ニ在リ
 一 敷使敷ノ内ニ在リ
 一 敷使敷ノ内ニ在リ

或人云此社に往昔の縁起記取るとして大御下ありし
 縁故云入上院と云に共に思ふ故文章として讀み交わす所を
 舊く傳へたる如く是に世に傳ふる教深く傳へて是れよ
 くとしと神意ありて尚文稀世の珍品と尚秘を云なり上の
 山内志に今く是に秘に余りに思ふ故あましく神の御事
 儀るも今く是に秘に余りに思ふ故あましく神の御事
 儀るも感あんと秘をささせし一御心もあましく思ふ
 るごとく他の及び傳ふる御事と云に也と深田晋南老人
 此れ傳ふるも中希記の秘甚く秘を秘と云はたよと
 也と云しと云く教のありと云略

○江島海町 大下町 江島町 下町

下馬町 下馬町 中町 七間町 傳馬町 中町

葛門 葛門 橋町 橋町 福屋町 福屋町 中松屋町 中松屋町

○町東 南在邊 小石地 志知屋 西原教 田之池

此丸 此丸 きんり きんり 寺院 寺院 ひどの山

裏町 裏町 橋尾 橋尾 御田 御田 井柳 井柳 寺 寺

九町 九町 寺 寺 寺 寺

菅色 元了 元了 寺 寺 寺 寺

内田 内田 寺 寺 寺 寺

原浦 原浦 寺 寺 寺 寺

目 目 寺 寺 寺 寺

口 口 寺 寺 寺 寺

○宮田 園 井倉 兼松 伴登 寺 寺

の相違を以て後を不用変に之を不思慮の者焉ありて海川
も地解と社名伴の宗大貴ひきりて正安山内の子と
南信上人平付寺に起す時おぼろしき

右の同邑也舊名
社名 須賀山光徳寺

日向村の教因院
日向寺 (日向社)

あき有合 業師 又信太郎 用山 空田上人

惟古有合と云う村ありて今ハ此處中寄り地城繁昌の地也所
引毎こは古の村を通りし川筋あり今ハ水枯れて僅し山川
流枯れ昔の川形今もおぼろしき是も古の川と云ふこと
そとまきしもの流川と云ふ白瀬八幡の社に造りてありけ
川筋に流しありて今ハ水枯れあり今ハ合より南に流し
造りしもの流川と云ふ易地ハ或る寺將天竺堂ありて
空徳院と云ふこと
日向寺 須賀山 甚徳院
日向寺 須賀山 甚徳院

中馬 不動明王 智徳寺 用山 空島上人

日向寺 須賀山 甚徳院
日向寺 須賀山 甚徳院

中馬 土面 観音寺

用山 空圓上人

多寶塔 二重 横門 階上 階下

中馬 阿州三十二観音 甚徳院

日向寺 須賀山 甚徳院
日向寺 須賀山 甚徳院

中馬

用山

海心寺

日向寺 須賀山 甚徳院
日向寺 須賀山 甚徳院

中馬

用山

般若院

除堂舎ハ甚徳院

○ 日本武藏野常念寺裏合七
境内寺及分佈前除

福曹因後修野地光寺

金剛山光寺

寺号 新迦如来 蓮雲作

用基 齋巖 和尚

金剛山
天保年中寂

中奥 用山 天岫 和尚

後修野地光寺
天保年中寂

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

東山院修屋上高寺

唯正山光寺

用基 阿弥陀仏

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

用基 真如坊

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

西門院修野地光寺

即得寺

加吉 阿弥陀仏 彫刻

用山 不詳

建修寺下後
建創と云

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

海女洞

龍迎庵

用基 阿弥陀仏 彫刻

用基 龍迎庵

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

廣徳山 地蔵寺

○ 日本武藏野内南ノ端ニ
古地羊及之畝自方地

用基 地蔵寺 弘法大師作

用基 地蔵寺 弘法大師作

中奥 用山

空圓上人

西百年忌宝曆十二年

○神宮

聖宗権現社

相殿 多井

聖宗村

伴忠内 相

多礼

毎年八月十六日馬塔十足
お七 邪前(曳海)

○世帯村境内
兼古寺遺地

多礼 河内院記

開山次第

古寺遺古本村にあり
延喜寺より古書あり
聖宗村より易地あり
今この寺号と山号あり

東門院三州御堂

多礼 山田光寺

○貴州大河

多礼

奥村

日誌

陸八多相

当村昔天皇御命
曲古殿傍り二河并馬の
奥村持分多礼川
多礼中在三年附

○御後法

左勢川山田御師

奥村持分多礼川
多礼中在三年附

破換付為新形
附並今今至
中治村 治集
中治御師
御師の子
其後三州
額田郡
大河内

○中治村

治集
中治御師
御師の子
其後三州
額田郡
大河内

○古殿跡

毛交村
川西
御師

○刈苧野村

御師
或の古
内
御師

東市場所

橋向河

本町

山市場所

養家河

後室お龜より取へし是時并七より正負の道立より物
より一昔して殊獨に兄の村民ハ今く田五丸の志あり
散ゆりり

キコク
枳穀屋補

村中夫西了北側園戸有るの善店 枳穀屋旧宅ニテ
々ハ借地と云ふ所の方ハ押廻し大抵まきく地
ゆへ形も々々も 園戸氏を枳穀屋と舊名を置

氏非
八幡宮

相殿
多の指

日向津寺
折雲野寺

村の山裏ニ在り此地を及ぶ畝分高く除地前村惣意部
臨屋古し徳吉年歴不詳祭禮八月十五日山車或類に
中あな十又馬の塔ニ走りお中車 陽立部人形置
長部所中江後ハ病を村方困窮ニ付陽立部人
振り金押出村日蓮宗多く印に信花動傳の事あり
かの氏部参り止す妙家の系或勲教頼りとの
とら事より取らやと一しとは多りたむる運中
後也

表形其有り此を 予に於て日東自居 蓬盛 山
前ハ今も赤東虹園 けはる肉而ん巡り 意係七
年有あへり知して 去苗と種とをり 何れハ
後したるの ぬれ

○日向南所東境内
幸ふ七畝十又地

竹林山惣頼寺 大

如き 河津池 東 立後

僧 崇 崇 院

天正云西年 育 院
開山大運教圓上人

如 再興大造 院

什宝
帝釈天益徳一幅

昆音 錫 年 三 宮 徳 寺 寺 容

南山六古く日向中徳村に在り中興易地 尚 南 井 氏 徳
よその時 徳 借 其 勢 友 進 寺 徳 年 の 帝 天 天 利 益 徳 寺 外 也
あを乞に立流に在瑞寺り 山 隣 の 里 氏 一 之 流 州 也 也 也

開佛に交りては而も乞く人の中此等客を中
子致夜方時の位持色々
多らるるし名を在付處之南山七世燈空祖佛上人に去来
和尚ハ、之を名すき、而るに中堂の碑に在り

辞世偈

執持左號 六拾八年 以事止漸居之
臨終端的 一心豁達 ちりりも元の
ん亂進む

○同前北町裏古岡寺
百廿六歩 梅節除

天正十二年辛丑月七日辰

日蓮宗一鼓堂地蔵寺
長壽山物堂寺 平

開山 春陽院日以大他
中興 市裡院日晴大他

○同前寺、北側中經
境地百廿六歩 梅節除

淨法寺村名梅節除

雲界山法海寺 長老

古寺 河内院聖集

也西院作
立條

開山 圓峯上人 蓋地和当

當院三十七代、一、旧地
と云ふ一、中経院
ありと云

○同前所、寺、東面南方
百廿六歩 梅節除

祿壽二開正眼寺末

和尙

本寺 新迦佛

新法舊、
親名在

開基 正眼十三世 天擇和尙

中興 六世 吉明親大和尙

宣地 正眼七世

天江和尙

由法 和尙

○同前寺、山側古境
百廿五歩 梅節除

日蓮宗一鼓堂地蔵寺末

龍洞山玉照寺 上人

番館堂

棧門

鐘樓

方丈

庫裡

大徳門
各作

閑基

管内院日審上人

天永十一年己未四月八日辰

寛政四年壬午二月九日

当山、往古、妙相郡、岩倉村、寺、中、奥、易、地、委、子、細、而、知、と云
當、善、也、因、八、雷、居、士、也、小、形、大、氣、の、亦、に、何、う、云、ん

日向町並山側境内
三友文臥交傍布隆

文種は己未四月八日辰

用山 正築院日惠律師

光榮山蓮修寺

番神堂

申寺一代智彌
用祖之世
光惠院日成上人

幽香庵可下居士
何者ぞ鏡の中此心ある
明た後迄は夜もや郭も

當山にて八雷居士其の一人也此の寺も海老目権入のし

日向町並山側境内
境内三畝分奉賣地

右同の事

成等山小修寺

用山守成院日惠上人

元禄十一年己未四月八日辰

當山の海畔に寺あり乎山内元禄三己未建創而因細二尺者附之
代々の善地也と云門の古く城の門と造り直は其の善地也
の山院にれを妻門と云る丁字造り形之善地の希はたの石碑あり
靈牌あり乎山内二代目七代目の修院の子たるへし推追考す

小修院宗喜日解
成等院妙喜日悟
東云宗門法也

日向町並山側境内
三畝分奉賣地

東云宗門法也

正福寺

中宮河内院

清観樓堂

開山

左ノ川三洲依々木上宮寺市山中興御所ありて今西寺と號し
當時より當宗の大地ありて寺と云ふゆゆゆ巡りの時亭借
地ありてと云ふ事同

○回所所裏南方
古地は前より此地

東門院加賀山堂初光寺あり
当養寺

中寺河

開山

東門院依々木上宮寺
福壽山当徳寺

○日所所並為勢也側
境由三町五歩年有地

中寺河院東心院

瑞雲

改宗開山蓮如上人

当徳寺代々相承

後古
開山

慈眼法下

西之後 嘉祥院節中
永祿三年丁巳 八月十日

慈觀

西之後 嘉祥院節中
初永十三年 九月十日

文證

西之後 嘉祥院節中
文為三回 而 二月十日

教音

西之後 嘉祥院節中
久龜二年 壬申 八月十日

教順

西之後 嘉祥院節中
同帝日養堂 五月十日

衆順

西之後 嘉祥院節中
天久寺 辛亥 二月十日

柴拍

西之後 嘉祥院節中
天久二年 甲申 八月十日

理拍

西之後 嘉祥院節中
後湯院院同 嘉祥院
慶長十二年 未 八月十八日

教拍

西之後 嘉祥院節中
後湯院院同 嘉祥院
寛文二年 壬午 六月十日

当山始ハ天台宗也其法勤井 延文三年ハ仲春後光嚴院
帝師

(將宗是所) 東花井 本若川(寸仏流)来住昔の宿縁故乎寺

河峯に當ル一宇坊舎建立而合堂に海勤仏海堂 鐘樓而

之加地号福堂山海勤院一也亦此井と云在而移まじ

中凡れ古寺五数武町中後皆焼之川峯ト號之攝樓也

如事りて 本若山雪消春ぬの時に大分流来之刻前に

此井河橋の流に埋れ花の(寸寸)山船ゆり(也

後是時城を改花井 而寺の堂而四方皆池之刻井あり

用山杜の蓮多し故よ改福也む井と号以 義詮公

時代細川加賀守 領前(寸寸)攝樓武町并 古町の古領

為進之寺の後本若川筋前大路(寸寸)一寺の寺也

尚也代目 中兵用山 兼少坊 教者生也 総州加賀ノ

里の犯人 崇徳天皇 十七代 主孫 加賀左近将 副 光也

嫡子 大徳寺 聖 光也 子 攝摩守 重也 攝摩寺 重也

此男の家而教者と云 教者用 敷山に登り 學又を極めて

又出元自 甲子二月十日に在り 此井天台 福堂山海勤院の

住僧と云之因住の支事勤也此也 蓮如之(寸寸)一州に宮寺

にも向ふ也此に花井 街に在る也(寸寸)蓮如之(寸寸)蓮如之(寸寸)

僧俗如市集り 念仏法種開時 捨中宗入(寸寸)宗入(寸寸)

重人(寸寸)時六字の名号を稱り 別教者三明(寸寸)作して一向也

念勝り者(寸寸)時に(寸寸)と云(寸寸)末山に属は

一人修(寸寸)本に(寸寸)蓮如 高也 娘女孫傳の因一子 誕生末

教者に新發意云(寸寸)付(寸寸)高のちお後(寸寸)蓮如の蓮如子に

此別教也 蓮如如(寸寸)一人(寸寸)先(寸寸)中(寸寸)の寺(寸寸)名(寸寸)蓮如(寸寸)

強教菩薩 院(寸寸)蓮如(寸寸)と云(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)

後(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)蓮如(寸寸)

境也 夜中(寸寸)雲の(寸寸)角(寸寸)光の(寸寸)川(寸寸)多(寸寸)一(寸寸)面(寸寸)に(寸寸)連(寸寸)り(寸寸)流(寸寸)本(寸寸)を(寸寸)教(寸寸)す(寸寸)

二七

迎駕の御人見物と云ふに依りて思致多く川舟相と雖
馳立又の御人見物と云ふに依りて思致多く川舟相と雖
卒夫の御人見物と云ふに依りて思致多く川舟相と雖
年八月中旬念々の光田虚空に上りて水中より光田あり
たると依りて水の流し来る又水に還りてやと云ふ

当道も六世常信坊花井辰伯の首末豊後守辰伯の時
古河の古所母長善提刑の御代に依りて辰伯上人御代先神
七世常信代に信長公の元龜二年甲申(四)大坂門跡辰伯合
末も後継明長常合頼に大坂門跡辰伯を元龜二年甲申(四)百
長信表も後継明長常合頼に大坂門跡辰伯を元龜二年甲申(四)百

八世理哲父子一而に長信常城父常信討死辰伯合頼一合
を信長公の一族と云ふに依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合
を信長公の一族と云ふに依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合
大坂(三)題(辰伯合頼)に相(大坂)に後継辰伯合頼に辰伯合頼

りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

由緒念々辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
七代一頼の辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
真加(三)叶(辰伯合頼)に相(大坂)に後継辰伯合頼に辰伯合頼

○御書の事 門跡大坂城退き依りて天下の事の時辰伯合頼
御書と云ふ御書に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

○辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
坊舎と雖も辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
初寺領も辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

○寺号の事 御書の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

○福重花井の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
井と先降是れ辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼
寺内常井徳重村の御代に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

○花井とお利安頼に依りて辰伯合頼の御代に依りて辰伯合頼

所ヲ 也井破滅の後約交村に寄置一藤原十郎の旧首
より約 羽宮村に寄置 藤原十郎の旧首の
比海井 海中より 刈あがき城を築くに始り 古原を築き 此の
為所の向也

○ 友也井寺の寺今ハ活動堂屋敷と申ハ 期交村とも云々
坊也堂屋敷と申ハ 坊今に有と云

○ 寺地天正十三年自 尾州所為 尾州の舊在 尾山
御開山 尾免の寺 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
尾向 尾門ニッ 尾寺ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
中ハ 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
後ハ 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
馬也 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

○ 活也 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 活也 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 活也 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 活也 尾ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

取門前ハ 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
○ 聖人 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

山 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
尾 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
尾 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
尾 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

什物 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
敷 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在
五輪 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在 尾州の舊在

○ 同村の東畑中一畝を村
二五畝を寺領前降

まのふら村地蔵寺

平 某王山 観音寺

本寺正観音 右基作
左像

天正十八年七月十日
用山 寶鏡法師

川原宿城鬼門に南り折念所
秋田縣 磐井の比の成言の天竺
今でん 鬼門の観音連日獲
の形はあり

法守 白山宮 二社 古新大御所 高

○ 磯田江 ヒニケン

当方の前島中、亦立二三を寺り、又社あり也

○ 初陽一社

社地を及二畝分、同村常一庵寺持分
陰地あり

○ 観音堂壙

材の島畑此家にあり昔の堂壙もあり、此

ヶ地を是れく畑白分日さとり、其念を教理あり、此
法所にけつ、其、古く里後より作あり

○ 天満天神社

両宮 聴座

社人 岩田内也

徳聖権現社

掃部山一社 掃部山一社 掃部山一社

当結至る舊し、亦立夥く、薄し、道并依り、今も古樹の
老樹、樹三七、強り、當お宮の助大、故、百、取の星を、狂、狂、世に
稀、故、無、終の、名、物、一夜、見、院、る、と、形、相、難、忘、海、島、之、形、如、の
名、多、一、天、満、之、の、子、像、ハ、二、社、あり、て、一、ハ、形、形、之、と、言、は、れ、
け、北、の、方、大、川、流、し、前、本、川、の、
前、本、川、の、
前、本、川、の、川、の、洲、勝、橋、は、前、本、川、の、
前、本、川、の、と、言、に
徳、聖、の、社、也、と、に、道、也、を、本、村、の、傍、山、川、の、
と、橋、を、橋、格、と、里、民、の、け、は、像、ハ、天、満、秀、那、の
寺、像、流、し、る、後、ふ、と、也、白、毛、千、年、と、前、社、原、火、災、あり、て
舊、記、院、尖、ハ、神、前、を、り、垂、村、と、も、り、も、の、池、を、湯、り、院、池
と、も、り、花、井、方、村、に、由、く、垂、び、た、れ、也、相、原、村、の、因、り、

前に云 岐言の天神と云ふ尚社のあり

○瓶菽 天智の初細中に瓶菽の伝一岳をうて形云

○山内塚 日石田中より塚に於て柳一樹植て瘡病を祈

竹筒に水を入れて祈せし礼ありはを傷中興け柳を印
取し 若かり立所を祀りしなりは徳寺加持祈念し
使氣を々法花劫後の塚としてん守の祀

○サイググ 塚に於て奉る云々 ○地塚 旧所

刈あめの因みに記す

関平屋の所持

○日蓮上人手習志免
○芭蕉翁古池の舊御由毛
○因風や身は竹林は自蓋後

旧 後世及多能事持

或則

オホムラ

○従一位大神大明神

相殿 多井 揚社

御由毛 宮地花池村 後三の神

倭名抄 所稱美知也式 深谷神大 度會也昌日

式撰 日未名神蓋 行字の各神祭式不載 後

来進名神故 追加名神字者乎 揚畑氏深大神御

素戔能雄命 古也孫大玉主後之 初書大三栄日中

三代実 深曰真神 田畑長 全雄賜 姓大神御 大三

痛 大田と根子命 後之云 大和皇大神大相主神

社 日神 (當社一旦荒廢而以高正躰) 私曰以勢田社類

種 三宮苗村熱田 店之且古依至今以踏呼白多

不食 亦古初秋七日自此邑 献素麵及蓮花散

莖 於熱田宮以此見之 苗村熱田神領

追搦 神社便覧云 大和國城上郡 大神 延喜式

大神 天物之神 祐 素戔嗚尊

或則

○従三位 湯井天神

湯井村

今社荒蕪し 俗に 其舊墟の色

從三位石作イシノリ天神

當郡今在イナ作村河以在

在串作村是乎

攝海東郡生家少在作村云能

社歌云々此祠乎

姓氏源曰石作連大明命子也

孫建真利根命之後也云云是隱海玉祖耶云

從三位石田波ハツ藤枝天神

當郡今在イナ作村河以在
村是乎
大總神命云

如鳥古村舊杉田村境也

攝海東郡河寺

長島山如鳥寺

或曰乃山而若也

如鳥 釈迦如來

右 善導 倉方作

持西天

弘法大師作

多門天

物部大膳作

用山

勅謚曰通大德也

攝海

勅謚山光大德也

耕雲庵

中興

定名曰明也

大陽庵

大極數室河征夷大將軍義教源云

桂昌庵

數地高附

久我内府在於通相源云

清室庵

種如院

來薰庵

仙殿

（仙門より南向正面乞ひ當之借在行田苗直建創と云致ら舊一
常々作形と違ふ致在布自造に據る之の神と云代の白紙也）

為門

（國中左雙禪刹
勅尊標額）

勅使門

長島山額

法宮宮

橋門

（勸興數名所也聖額
大正郡是利北宮美教云台等）

二天門

今道指云々
礎の法の云々

張大帝像

右 雲以大帝畫
右 大格神聖菩薩

普庵禪師

畫師不傳

達摩大師

右 通大德禪師
右 四光大德禪師

涅槃像

一幅

地藏像

定妙作

一列祖畫像

二十六幅對

九字名号

經書上人筆

蓮如大師畫

二幅對

為佛畫

雪村畫

蓮庵大師

顏冠畫

畫聖人

因方畫

山水畫

二枚

雪舟畫

仙人畫

日

北隱畫

中興南化和尚自院頂上

畫佛畫

人物畫

後光嚴院御宸筆

後光嚴院御宸筆

南禪寺映陽和尚墨

慶南師

蓮行九師
和善畫

大德寺法庵和尚墨

同德寺散私和尚墨

建仁寺天陽和尚同

後山號

每卷有第壹卷尚
畫

開山總師

生有頂相

吳山大德禪師

日頂相

孔叢香爐

以新製南禪寺
畫南和尚墨

維摩像

古法墨筆

彩迦

右 玄珠
右 善賢

洛守墨筆
三幅對

蝦蟆仙人

墨師不傳
睡心之像

鷄鳴畫

相河墨筆

後光嚴院御宸筆

同山禪師

佛光院帝
師宸翰

開山大德禪師

墨師

中興南化和尚墨

持方和尚墨

日竹畫

悟溪和尚墨

仁希和尚墨

日覺寺春溪和尚墨

南禪寺寧一和尚日

張果師

和善墨筆

吳王畫

天皇御之勅書
帝苑三國海軍云

十古墨筆

每卷十六

當寺大且形是利義勅書

佛師

右 善賢
尚善

高樓寺墨筆

西園信玄日

大元流島

七多福寺
虎園和當寺

福祿壽

右寺統
右院統

高村有

五悔對

妙法智多

鏡子の絵

玉潤寺

同

善聖寺
志在可也

辨文天

定相作

文殊大士

必基作

章賦天

尾交作

阿房院心

慈光大僧作

近邊御山公帳右文

同信尹公自記

大園寺古云如寺

中坊心堂以草寺

氣香大士

三朝作

少地及風寺作

善寺并業難云 如多是也

近大御云又曰

南寺寺願目錄

初立寺是也

子昂書

石氣師主

弘長大僧作

善寺年甲好子開山日

開山坊作 物老云記

同尚嗣云帳右文

同家云云画談

鳥丸大僧云光唐寺多作

石原寺持右文 同

九條寺右文 同

大徳寺師塔治

批州路天曆寺住持延後

撰慶元路真相寺住持

密諸書資善寺夫中昏

阿古院鐘子

中島後人書進

秀吉云如銘

琉球製之板
泥合器

藝田倫

大徳寺師塔治

大徳寺師塔の同

同師師の同

秀吉云
葛附

南宗淨瓶

開山坊

堆馬、香合 日

堆米、大香合 日

藝田院堂

同院文

三入信中省忠契約状

入及宗文 日

身元 日

散位長利 日

華の編目 五 古伝眼書

回名抄 己下宗宗 秀吉の書附

後光厳院熱田院定

徳川院熱田院定

国府宮庭定

入江道壽寺附定

志願寺附定

指姓七部卷多之記回

北条相模多之附 日

回 加判讓状

教佐 宗形易多之状

並盛 日

前書作与卷卷多之附

宗賢 日

借宗定 号進状

馬洲城定 卷多之附

徳川上巻 日

徳川左巻 附教経回

入江宗定 日

宗成 日

横田新右衛門元竹 日

入道源参 日

光吉 日

指多入江宗形 日

新書附 日

入道宗天 日 五

高階経永 日

高階泰隆 日

勢田右巻 日

後醍醐天皇 境内 日

回 市御前 日

光明院回 日

後光厳院寺形 日

回 帝御前 日

回 帝御前 日

回 寺由 日

二巻院大徳心光流 日

荒民民被縛 日

由所光宗 日

比列公論 日

回 義満 日

回 義持 日

回 義隆 日

回 義教 日

回 義政 日

回 義尚 日

回 義輝 日

寺形 日

征夷大将軍 日

之稱因古言通相云 境内

曰境内曰判

細川氏系多賴之论文

之階階真 曰

細川氏多美揚元

寺法法修免作古後傳不入地
文化文或至其利美以台命

富山氏多持玉

尚玉 新波氏多出督美持
古儀

曰新波氏多美原

曰新波氏多美原

曰新波氏多美原 美原入合
古香

之氏云境内曰判

達結

尾州 新波氏多美原

曰新波氏多美原

清洲城之鐵田六等 曰

鐵田紀作古 美原

清洲城之鐵田六等 曰

鐵田紀作古 美原

天祥庵 曰美

天祥庵 宋安準德美

新波散淨 曰美

張帶燕陽 宋張帶燕

曹田白 曰美

上崇 附大徽

芙蓉院 怡州路

柳山香院 交趾院

香院香院 之蕭院
怡州路

香院 唐製

鐵田唐實崇益 一版

布袋紙書 白畫

曰 初重雅

唐益牡丹 益師

墨香 之蕭院

仙舍別

鐵田唐實崇益 一版

鐵田唐實崇益 一版

古香 五

僧崇柱法親 趙多身

馨 羽節

家珍 天竺

三吳 古香

香檯燭香 遷

唐末料紙書

三行物 明張

鐵田唐實崇益 一版

香檯 曰

後世の事... 中興... 比路号... ○天王社 ○庚申堂

○おもとこの驛

(おもとこの驛名もと...)

七 柳井村

あゆむ六夜の日... 柳井村... 柳井村... 柳井村...

○山梨御所

柳井村... 柳井村... 柳井村...

中興... 柳井村... 柳井村...

○東記

文永七年... 柳井村... 柳井村... 柳井村...

○柳井村... 柳井村... 柳井村...

柳井村正眼寺

柳井山廣徳寺

柳井

柳井社

柳井

柳井社

柳井 正眼

柳井 柳井

柳井

柳井

柳井

柳井 宝地

柳井 柳井

柳井 柳井

柳井

柳井 柳井

柳井 柳井

柳井村... 柳井村... 柳井村...

柳井

柳井 柳井

性善ハ南チ方地ニシテ旧改ニ交キルニ百工呼陸地ニシテ
 在リ用基時代ホク知易地築キテ以容殿キモ造
 立不不細也多仙ホ上廟下ニある有ク右古縁陽西に
 竹内温學像 額板ノ字 在リ
 天満宮社 長或天授元寺板曹相 尚チ如

同村ノ内八畝ニシテ坪高十七有
 南中ノ里ニシテ西東寺以同年
 首ノ地ニ

古ノ阿ノミ 石像

用基惟念坊

次六枚目ニ 谷殿 古ノ石ノ寺
 下津一枚アリ 標ノ石

東門院三州郡ノ花ノ寺 平
 圓通寺

竹内
 阿保院石像 七ノ徳益像
 龍雲ノ大縁像 上宮寺石像
 蓮如ノ大縁像 龍如ノ大縁像
 右ノ石ノ像ノ

以下四行下津村

長所古縁所時代名知高條兼中比及大破氏子并其ノ子
 在リ近宮ノ時移ニ祠ニ用キテ神佛ハ老女ノ面ノ後ノ植
 一古古也品ノ外ニ神ニシテ其ノ面ノ後ノ植

古縁補墟

同村内ニ在リ古田邊ニ其長所也

長所村境内ニ在リ
 古縁ノ古縁補墟ニ除キ

古縁ノ寺 龍花園院
 長所山 石像寺

本ノ所所所所
 用基弘法大師
 用創慈照上人
 再建常山阿闍梨

古縁ノ寺
 龍花園院
 養正院

邦州ノ密寺古縁ニ其長老也世法不邦君神國ノ所也

邦内密寺ノ中ニ番ニ青山影

御是下御所高不

寺者 五拾之石

日向因形

古願 古祝文一通凡通

長世所九日其用

五平分と云々 年号

長引ノ五平分と云々 年号

天正二年六月廿七日 助井中務徳永 以下

文正元年上ノ寺者 秀吉云々 以下

丑ノ寺者 信長御前 寺

秀吉云々 寺者 忠孝云々 以下

元禄二年 寺者 以下 以下 以下

寛文七年 寺者 以下 以下 以下

文政七年 寺者 以下 以下 以下

御代

青山、信長弘治大僧入唐の及兼加元年帰朝参りて
境知せぬ凡そ其の如く如持りてに過り忽ち其年て陸地
成り枕字と云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
跡で細め終ひ隠るも参りて是より其兼加元年如く
其年(元禄)信長弘治の如く如く如く如く如く如く如く如く
神代 寺者 二丙午年 寺者 眼上人 建一寺 寺者 以下

を記キ万徳の寺號を扁次 天曆の因形也 神代二年 寺者
建長六甲寅年 春常 圓西園梨後 寺者 再興寺 寺者 山相
州の寺者 権宗氏 寺者 弘治二年 寺者 新龜山院 寺者 白向
入系 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者
春日の作乃六百寺とありて云ル是と安んせり 青山の中興
け常 寺者 上人の上は空田上人の信門の辨りて一の寺者の
地蔵寺 崩山の城ヶ崎の寺は 寺者 一山 上人の日記 寺者
氏の時又三人 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者
史記 縁起 尚 寺者 建長六年 寺者 寺者 寺者 寺者 寺者

○正一位尾張大國靈大倉神

國衙在 四府宮村 陸尾

延喜式云從一位尾張大西靈神社名神而國始祀神
故後世奈々以國勢為 本國帳集說云正一位大倉神
稱國衙在社下 凡事記云號大國靈社亦惣社在社從
一位祭大己心貴者下々 社在浦地 (多西平間
南北五十間)

瑞坂 樓門 築所 陸尾 浦佐所
多西二 別宮二座 攝社八座西側 各社在宮左在陸尾

大日靈 大日靈 大日靈
天智社 天智社 天智社
月宮社 月宮社 月宮社
磐田明神 磐田明神 磐田明神
稻荷明神 稻荷明神 稻荷明神

○從一位大西靈大倉神

國府宮別之補地 東西十間 南北十間

延喜式云智如丸 四府之二所中御玉御社之大倉靈大福
神社同神大歲社子之 陸尾宮三所經未申方隔
大己貴命 弟二の御子也 大西靈 大西靈 角玉
是上國府宮三所 奉務 社目 大西長

○從二位宗形天智

國府宮村宮敷地 東西十五間 南北八間

延喜式云如丸 俗西玉明神 稱角玉 姓氏稱云
宗形大己命 古世孫吾田片隅命 後之是
大己貴命 弟二の御子也 陸尾社二所經世宮方 陸尾社
陸尾社 陸尾社 陸尾社

海上権現 浦地 陸尾社 陸尾社 陸尾社

政所

陸尾社 陸尾社 陸尾社 陸尾社 陸尾社
同十寺之權願社是五月廿神代神會 勤

死而子幸徳元初之下威久田信昌元改号之建武也
 年二月賜麻豆是乃改相徳而令徳於徳川等の
 稱より而徳之秀改己外より稱徳之徳者徳之徳徳
 徳徳氏而州目代久田信嗣元裔之略系如也

秀将

徳之長門守
 文明ノ比人

秀定

久田陸守
 仕斯徳氏

秀守

徳之長門守
 天永中入京圍衛在徳村
 即多事華山堀在り

徳海

高直守或久徳川取回と云
 重祿年中ノ形也

秀光

徳川守守了高徳長云
 初年天正中徳之入

秀正

徳之長門守

秀信

徳高

秀利

市島

秀安

高直守其居上
 高直守其居上

秀徳

徳之長門守其居上
 但官而高直守其居上
 延享三年官是月以徳泰初也

○徳世造官の次分

寛政古六年己亥十月二日

造官

文政三年辛卯七月

重造

享和十六年庚寅十月廿八日

同

享和四年辛卯二月十日

造官

天正五年丁巳十月

重造

元禄八年壬戌二月

同

寛文八年戊申五月十八日

造官

元禄八年乙亥九月廿九日

重造

宝永二年乙酉甲子

(而徳智初宗家那其
 他小初五之而新造進)

○尾州國府宮鐘銘

按梅華年受為名東海道尾州中島郡府中國王大明神者國之惣社而大日覺王之無迹也徒示如來之化議於總社以來不知幾百歲每歲五月六日迺大明神下降之辰也管係回禰之厄記録悉亡矣禴祀蒸當之祭禮排戶棘矣哉者該馬土餅鬻燈儺每逐鬼深密之禊事在巫之口實而已惣社大明神有口十二王子之列廟以象四十二章經也角王明神宿被良卦而攘惡鬼邪氣是又醫王善通之垂跡第二号御玉明神棲此坤卦而護行旅往來是又世禰頭王之垂跡餘則一二不可勝記焉惣有國玉角玉御玉三處之名神巫則秘而不顯儒家者以表日月星之三佛家者以表法報志之三凡入華表之中一念合掌則人人箇之祈願無一而不成就也悉惟惣社大明神之弘誓願而前所謂大日覺王之方便門也具眼者能辨焉云云予嘗往尾陽長久寺之日別當沙門政祐來謂曰古神祠先鳴鐘永福中安樂夫人之所造也破製者久之匪帝久報晨昏日祭礼亦有廟焉至若

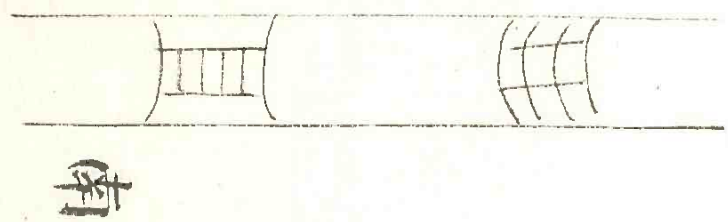
叱王免力輪之緣唐主休縹械之蹟廢巨益有莫大焉豈堪傷嘆乎因茲勸特者緣傾倒長物造得銅鐘一口只恨無記請為吾若一倡幸至予是真言不得拒之迺為之銘云銘曰

廟邃樹老 自覺地靈 至聖降迹 攘邪保齡
鬻燈土餅 惟信惟馨 中鐘哀運 破厄丙丁
有緣出午 華鐘出型 倭和曠調 隱々震霆
樵史帶月 旅容戴星 總扣三下 大千徹聽
夕燧晨薦 息苦幽冥 願共沙界 破巨夜暝
運啟志之

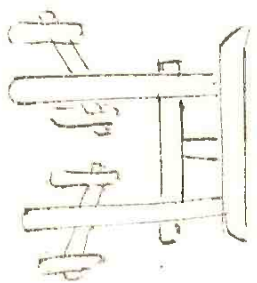
儺負神夏人上捕受寬保三亥年
邦君才神位山而後相止雇ひの人上以而之形相也
神代系白浪御出有之也
神山性荒

國府宮畧圖 如左

○ 聖德太子廟
 今在宇治郡



六通往還之八里



富士社

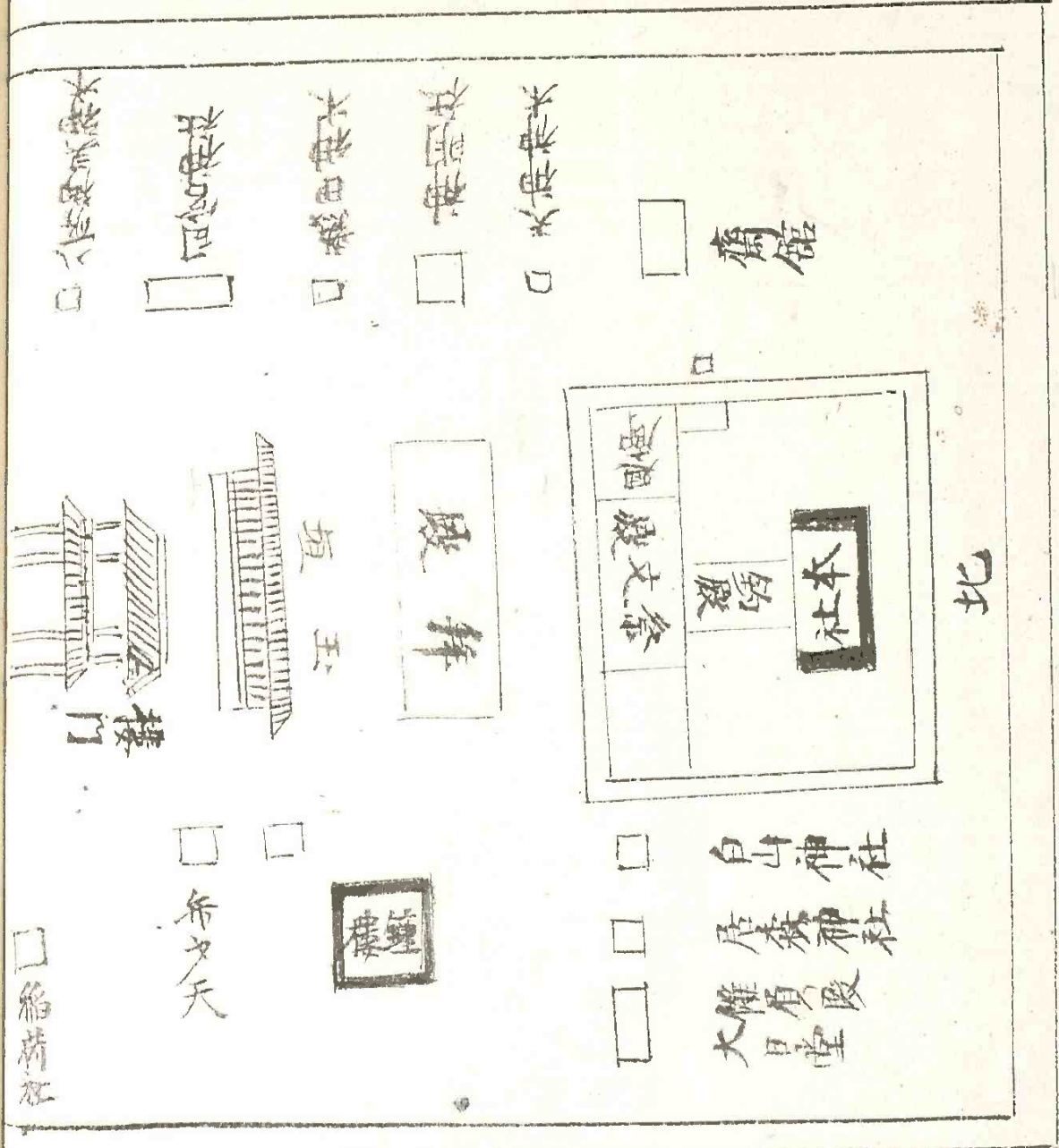
東西十四間
 南北二十間
 今退轉無

○ 國衙屋敷古跡
 今在宇治之東

櫻社式内
 大御靈神社

東西十間南北十六間

社在神池東西七十間南北五十間也



○ 御所御所

政所
 東西廿六間
 南北八間

櫻社式内

宗像御靈神社

東西廿五間南北六間

○西府文ノ社地古角
七五七畝八歩

社務

寺言寺地万徳寺寺

寺言寺

威徳院

寺言

岡山

○同社地榊ノ内

日寺同寺

社言寺言寺

寺言寺

大日堂

岡山

○高岡寺村境知
寺言寺言寺言

左目寺

蓮徳山寺言寺言

寺言

岡山

○八幡宮

社言八畝寺言

○八幡文

社言寺言

○松原社

同寺言

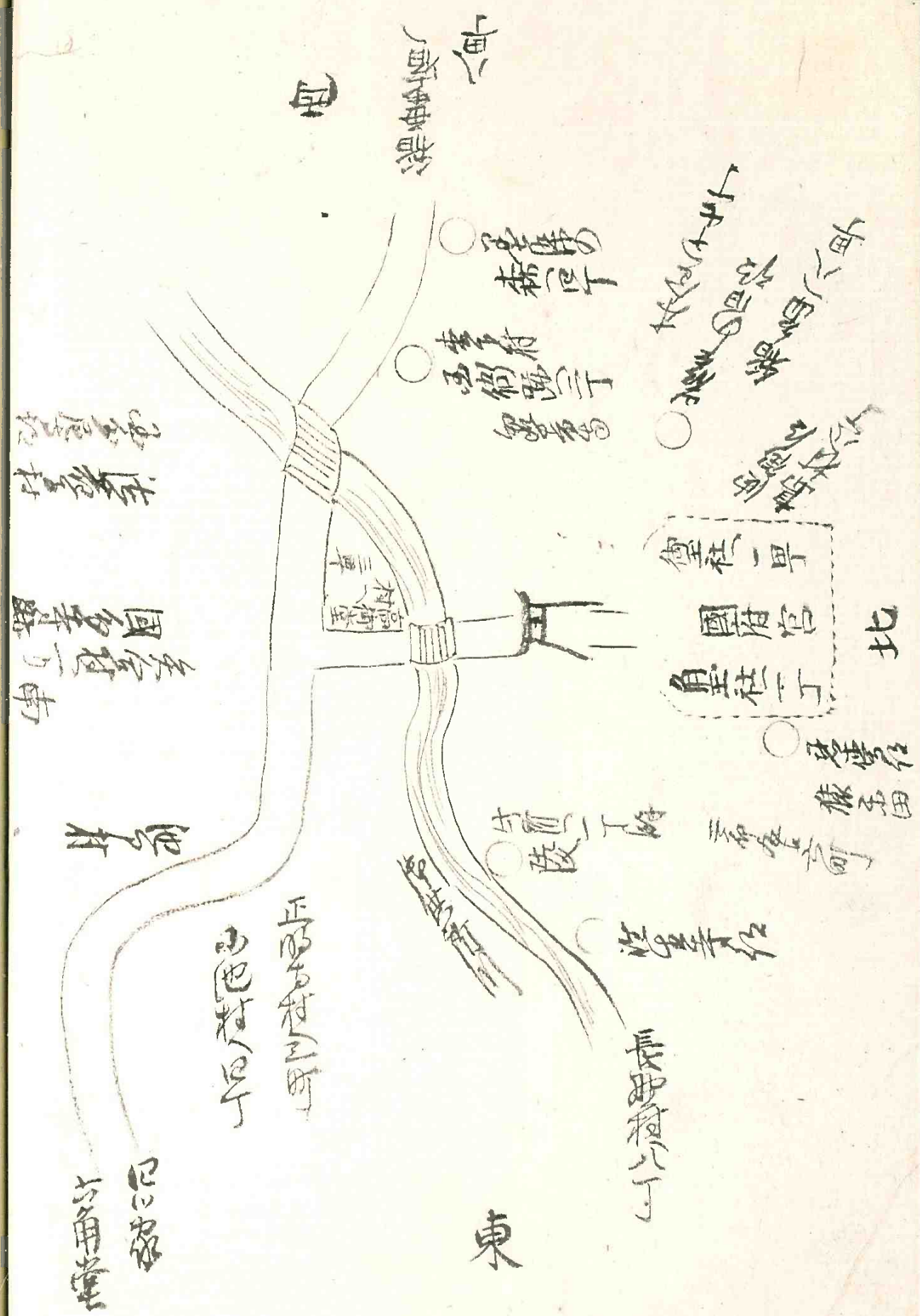
○社務所

社地寺言寺言

○白山社

同寺言寺言

寺言寺言村同寺言寺言



○司麿 国府寺下村跡名鳴西河畠地其舊墟有り
 学校田の古跡今程朽々惟古日州各五五孔廟二仲の
 祭奠儀體たゝる毎西畠寺五五学校田跡西学校荒
 廢して石橋大寺跡あり 市廳側中々西河河在松木
 村西河河と云是也

○雲下村境内に古交置古地跡あり
 此箇 古交置古地跡あり 除他

あき観世音

用山大禮禱所 清徳大社あり

寛治五年乙卯年庚申

天神社 氏神
 右三所の祭他雲下山あり 或は古月あり
 長生堂あり 藤子田あり
 正徳村三丁あり 西池村八丁あり
 六角堂あり

補陀山觀音寺 平

あき観世音
 用山大禮禱所 清徳大社あり
 寛治五年乙卯年庚申

○并我神社八寸 以敷地三ノ高材陰

古寺社

○從三位修理善海シヨウカイの大罪

国尚在松村善海天神死

○善海の妻 善海シヨウカイの御妻

○從一位左大臣オホノオミ 大入部オホノオミ

於保村オホノオミ 善海シヨウカイの御妻

或オシ作大神神社 度會延昌曰大神神字 祈臨時祭式作

多神社者也 大下多共訓於保村

姓氏海曰多相長出自神八井御命 文德實海曰仁壽三年正月以尾張玉多天神額於

名神上云云 首尾張玉加多天神從五位上云云

正史載當社夏者非三從自氏人散亡而以降神祠荒廢 後撰而稱於保天皇 貞治三年奉由此從一位於保各神云云

於保村大神社 或ハ作多卯木作大神神社オホノオミ 訓ス非ナリ

一旦荒廢而村民後に中祠を建而祭或内の名神大社 矣と名知可也 亦一書 大那神社を津島に移を

多隆に中修船大那の社の社定毎祭二月御其祭礼の時 是る推り以て海島の新定亦不審とひて不詳あり 年一歴次中にをさし何の物に注ぎか毎色三本卯是を 以て於保村天皇はる大己貴命と相合ぬへし物云ハ白 牛頭天皇に此をとも云推

○於保村境に於大神宮 善海シヨウカイの御妻 南にあり

如きの観音

開基宗玄坊

標曹三剛正賜寺

善海山龜形寺

善海七名所

平

○稻津村と鏡武庫百
東の八百南北七百六
年首地

稻津村 稻津寺

平 菩提寺

堂寺身有 菩提寺

如孝の菩提如来

日付

亦必新

内殿 多井

用事 古信如尚

付境地 武庫分 十百 五の八月
前 公陸地 右同寺 扣

中奥 山万保智

社 武庫 日面 夜書也

○観音堂

退物今

稻津村

日取 寺の村 観音寺

長津古 寺 武庫 山 菩提寺
持 寺 武庫 寺 武庫 寺
抑 寺 武庫 寺 武庫 寺
寺 山 寺 武庫 寺 武庫 寺
か 入 寺 武庫 寺 武庫 寺
能 寺 武庫 寺 武庫 寺

○從一住久多名神

三作 久田

岡崎

稻津村

土島 今新絶 美村西在天 背男 命

天壁 命 寺 武庫 寺

山岩 窟

今俗民云 稻津村

蓋此處 古社地

大 寺 武庫 寺

所 智 若 之 田 武庫 寺 武庫 寺
建 武 四 年 二 月 曆 二 年 十 月 等 本 州 自 代 文 書 中 文 下 寺
稻 津 海 務 寺 武庫 寺

○明神祠

日村

寺 武庫 寺

○從一住 伊奈波 名神

目街

稻津村 土社 稻津

或 稻 從 一 住 神 洲 二 社 蓋 日 祖 神 乎 稻 津 社 物 教
伊 奈 波 連 公 令 社 物 部 金 弓 連 公 知
或 人 寺 武庫 寺 武庫 寺 武庫 寺 武庫 寺

美濃尾張の西境にして中仙居の大河之河東、尾州起宿
 河為濃州新井村之水原、信州本所所流、おもひお籠下
 堤の百石石之間をり、常日、少船、さし通、海渡
 大樹、河上流、或ハ、朝船、入、本朝の、さ、長、舟、若、船、を、想、也

橋長、百石、八、百、五、尺、一、番、蛇、橋、ヨリ、
 波、渡、橋、は、百、五、尺、
 橋、渡、二、尺

東方 山崩 樂、九、尺、
 長、三、間、
 下、五、尺、
 百、十、張、
 海、池、十、張、
 長、柄、十、寸、
 舟、十、張、
 舟、十、張、
 舟、十、張、

同 南側 同 樂、九、尺、
 長、三、間、
 下、五、尺、
 舟、十、張、
 舟、十、張、
 舟、十、張、

西方 南側 同 樂、九、尺、
 長、三、間、
 下、五、尺、
 舟、十、張、
 舟、十、張、
 舟、十、張、

東川、南、西、側、種、別、場、中、十五、間、徑、亦、或、百、石、艘、五、艘、を
 並、く、(船、と、あ、の、り、三、尺、斗、六、換、橋、を、用、て、繋、ぎ、合、七
 板、を、よ、布、也) 蛇、網、中、網、蛇、籠、若、湯、強、強、
 鎖、川、亦、蛇、籠、碇、碇、東、ニ、テ、蛇、籠、小、ニ、テ、南、部、也、
 西、ニ、テ、水、川、三、中、南、ハ、砂、也、之、境、杭、と、云、三、寸、
 西、河、亦、百、石、間、種、別、場、中、十五、間、種、別、也、同、也、
 水、石、流、り、白、橋、と、い、ふ、る、も、能、故、に、信、橋、を、以、て、後、ハ、影、敷、也、也、
 等、目、を、あ、也、(要、く、ハ、白、橋、の、圖、を、り、後、ハ、略、也、)

昔、ハ、墨、俣、川、と、尾、邊、の、境、を、以、て、海、系、に、平、尺、の、甲、邊、付、川、と、云、
 立、て、臨、元、兼、久、建、武、の、乱、に、東、西、境、墨、俣、川、越、つ、た、り、と
 (墨、俣、と、平、尺、高、く、ハ、信、守、一、尺、
 近、傍、殿、所、河、の、時、墨、俣、を、并、行、む) 古、来、ハ、平、尺、川、墨、俣、川、流、流、る、也、
 たり、本、所、河、の、支、流、中、流、部、ハ、入、て、墨、俣、川、に、入、り、流、流、る、也、
 田、邊、河、尾、張、の、境、ハ、墨、俣、川、と、大、河、能、き、境、之、邊、付、川、也、
 西、東、と、定、め、ら、れ、ん、と、云、(鐵、田、邊、の、境、を、墨、俣、川、と、云、
 初、め、り、し、し、ハ、尾、州、の、内、墨、俣、中、流、部、河、三、尺、ハ、元、也、)

月夜河津寺のありて人目覚にさそけりて
如月の代に建末と云ふ寺をさしめしは海舟の信長とて

東門流六条寺

如法寺

小信中流村境内
不詳

如法寺の額

寺額 寺傍の云々
新田義孝の御影とあるは
たゞの御影と云ふは誤りなり
建末の御影と云ふは建末
の御影と云ふは建末の御影
と云ふは建末の御影と云ふ

用山

みるの川をさしめしは海舟の御影と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふ

是建末の御影と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふ

小信中流村 起川御影下
長門の御影

東門流三別格と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふ

如法寺の御影

建末の御影

如法寺の御影

建末の御影 天台宗と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふは建末の御影と云ふ

於園寺系願軍忠孝号焉永祿元年平定建寺而号
一弓山永張与幼法正眼寺同奉祀尚於南山十之
号永承八年未年後の移并氏如今再興有り
法寺神心社

志士府上六次寺也

古園祭

○古園 神心社村也其
寺畝八歩備前除

本寺地籍并

仍基別之
五天舍大形屋像

削山

善光山淨妙寺

○相田宮

相殿
香并

背
此及古園部也
或云古園古名也

(此安善寺也
古園部也
其寺也)

神心社村

○從三位齋養天神

古園部
船本村

姓氏源曰物其於者者武岡宿禰男已セオスノ西男宿禰
後也

○從三位鹽江天神

中ノ部
塩川村 神心社

按舊史紀天背男命尾張西中治海部直祖ト云
塩與背男音便也 (姓氏源曰神魂命五世
所麻乃西乎乃命云云) 凡久多世
兩社也 背男命而久冬其岩殿地致 國府宮部
家中世在塩川村号乎在故也

○從三位齋養天神

古園部
娘降村 七八陽社也

按大伴布命天結梓命也按物部齋養
服蘇伎大日齋史三祠者同也
娘降村古園部也
古園部也

○古城墟

号ス勝幡城

徳大勝幡村屋敷事新真元

城跡今ノ中津郡中ノ古城跡村の地而勝幡村あり城の方
北程事所余ノ降川之城跡村の城跡今ノ所程事所方
あり郭内東北西は皆八歩南北七十歩大よは東西の二方を開キ
四方一重障之曲藩の外地程事所の岡南山下に古事あり古
二十歩程今ノ埋障田跡を開キ今ノ丸の古事あり程老
樹今ノも古事あり

昔ノ城跡の地ノ忠信定(信朝)城跡を築る久安棟上と
張らんと今ノ備中ノ信秀(信朝)長尾の嗣子上後父信長
於此城跡を築る信朝(信朝)於此城跡村率今ノ所程事所の
御殿村の由所所ありと云事今ノ存り今ノ(信朝)の由所加
る信朝(信朝)後平(信朝)慶而後(信朝)の由所加
る武者(信朝)と云者を信朝(信朝)の由所加
る後(信朝)の由所加

從五位上教信(中)長安朝臣

舊の備中在義事始子

古記云 應仁元年辛巳年奉勅任尾形持事(信朝)在御教
那揚留城

(尾形)自(信朝)歷(信朝)曰
從五位上(信朝)在(信朝)ありと云

抄考、女古城墟ト云(信朝)氏代ノ城址其(信朝)同不詳

○三宅邑

上下

日本紀推古帝十五年每(信朝)倉置ト

釋曰(信朝)此倉トハ天子の米穀を収(信朝)倉也今(信朝)毎(信朝)
三宅ト云村里の存(信朝)舊(信朝)也ト云(信朝)米倉を置る
倉(信朝)也(信朝)救(信朝)人(信朝)也ト云(信朝)米倉を置る
協文武帝義倉を建(信朝)られ(信朝)は(信朝)後(信朝)帝(信朝)の(信朝)倉(信朝)を(信朝)建(信朝)る
後(信朝)ハ(信朝)是(信朝)皆(信朝)仁(信朝)政(信朝)の(信朝)所(信朝)あり

○年乃天皇社

三宅村

是(信朝)海(信朝)東(信朝)郡(信朝)海(信朝)島(信朝)の(信朝)社(信朝)乃(信朝)想(信朝)元(信朝)也(信朝)ト云(信朝)故(信朝)ノ(信朝)每(信朝)皇(信朝)正(信朝)日(信朝)是(信朝)乃(信朝)社(信朝)也

大盤若智漢の日初官一村民を肇ハ神饌と謂事ト
此處の之に於テ祭ヲ執リ
天五結之の所ト云々
天五結之の所ト云々

庭掃山觀音

上三宅村 海老島同地帯古下
寺

本寺の上面觀世音

行基作和申中寺古殿及此石地境
三畝多正繩不入堂庭掃山觀音
の之部云

海法寺村七福寺
海雲山延命寺

上三宅村境内
或畝分年貢地

寺
河落院

用山 榮卷上人

下三宅村境内
或畝分年貢地

本寺の觀音 本寺
本寺

大貳山長初寺

二五門

用山

三宅川

從三後堂 天神

村内三畝多而除地國衙古目比
安書寺境内三寺古物古土舊地云々
寺北修民今社八社云々

按舊記中記曰天授元年五月尾張中清縣人初四後
上堂昨少臣解圭言云已等與伴賀國政相臣同祖也

拜殿

鳥井

揚基一座 参礼

三任河俣天神

但此当郡中片原之各村。呼河俣之地白山宿院の社
年一是成也。後三任河俣。上の寺村。上下二社也。此
有

片原及村邊地或及歩
梅並路梅並山根原也

本寺阿彌陀作石

旭照寺

塔院 表立

用山光空上人

中興 曹養上人

中興 大極教皇初院殿日窓明國大居士

表立九年の申三月廿五日

後寺村表立

本堂 南 棧門 肚 大日堂 骨堂 南 護樓 方丈 寮室

庫裡 別舎 護守神社 八幡宮

揚基の地... 用山光空上人... 後三任河俣... 白山宿院... 表立九年... 申三月廿五日... 後寺村表立

式部 從一位 千代名神

尚那 神名姓 式部從一位神社 前齋宮村後
少云云 爰に略記 千代の神社と里人の齋宮村の云

中 千代村

安樂寺

安樂寺

中 房村 八畝十古歩
初 田吉 及 八畝十古歩

阿波陀

用山

宣永三丙戌年 再興の時
十月十日 又 宣永三丙戌年
五年 宣永三丙戌年 宣永三丙戌年
宣永三丙戌年 宣永三丙戌年
宣永三丙戌年 宣永三丙戌年
宣永三丙戌年 宣永三丙戌年

辨妙天 八幡宮 月一畝

妙元宮 神名姓 八幡社 阿波陀 宣永三丙戌年

中 房村 安樂寺

大塚村 八畝十古歩

大塚山 阿波陀

大塚山 阿波陀

大塚山 阿波陀

阿波陀 阿波陀

阿波陀 阿波陀

中 房村 阿波陀

中 房村 阿波陀

建長年中 尚那之民 齋宮
長 齋宮 長谷 齋宮
三世 齋宮 政連 吹息 信直
齋宮 齋宮 齋宮 齋宮
齋宮 齋宮 齋宮 齋宮

宝塔 毛澤堂 隆興堂 護國堂

方丈 院寮 齋宮 齋宮

○西川堂村境内
或五五車馬橋前陸

志云一宮地西寺志

云永山 或經寺平

本寺

開山

境内

牛取天王社

○天沼社 白山宮

其地植祀社加三軒分

國寺社

或分

国衙志

○從之儀長杜天邪

西川堂村

舞殿

多井

梅社

榮り

○依之屋浦

西川堂村 依之屋浦 長尾の屋敷

○古屋浦址

中尾村 奥田村

御田敏定次男長馬定宗仕武備出雲國の城より後、
依尾の堂ありと傳へて依尾近江守と号し公方に仕出御
の人數より加し永福三康申年より與今川義元將敵
知多郡勢澤城討死也 法号常空居士云々

○奥田村古地を及
沙動多 御田

志云長尾百徳寺

志云世法下

奥田山安樂寺

号字安樂院

本寺 阿弥陀 行基芥 彫刻

開山

三國平東山義滿寺トハ
築リテ三東山殿ハ義滿
ナリ亦義滿ニ北山殿ニ
何カ是ナリ

尚多多く舊く知れぬ開基
の時代委實不知也永年
中東山義滿云の時代
中奥ニト云傳へり

○奥田村内寺地
一五一畝古備前除

東門迄古世村光の寺也 至

生年山正印寺

古寺 阿そだ

用山亦祥

古寺も古し 始古迄三六被
喜徳に可建立父祖姓名
ありくじしく次

後曹三剛正眼寺也

修

○奥田村古境を及
古畝分備前除

雲海山康徳寺

古寺 釋迦仏 修名か

用山正眼八世住雲和尚

用寺自歴不委正修
三年 修名也
現存千代代

○観音堂

山北修作

南河川沿日輪山觀蓮古迎回家の一寺なり 府南修也

○奥田村内寺地
一畝古備前除

尼寺

所稱香院の引寺と歎け 福退轉もるより 續之 延慶堂と云
舊きを本寺と云 此處村に 龍三山古寺も 迎之剛正眼と云
山ありとは 中野郡 大原村 易地と 修富とありぬ

神在徳

修入

○白山権現社

奥田村

奥田花辺

屋中神

兼殿

古表

修

二十畝神堂

河津院堂

地内古畝分

古寺も古備前修也

○奥田村境内を及分
印田細又古畝分除地

益田山如願院

古寺 河津院

修名也

中奥用山光圓法印

六角堂村街と御境内
長五十間横に平なる地あり

福徳寺の御地

自化山 長光寺 和馬

あまの地蔵堂

邦中六地蔵の母と云ふ

二五門

客殿あまの地蔵

十五堂

中奥因山梁南和尙

法号和

大檀越玄白大居士

善摩子忠孝卿

御堂下回村田

寺願寺 拾部

天正十二年九月廿四日
御堂下回村田
長光寺の御地
元禄六年九月廿七日
瑞龍寺の御地
元禄七年九月廿七日

隅に

地蔵堂 御
大檀越 地蔵堂 御
天正十一年六月廿五日

六角堂

依託水

六角堂の南庭 古樹一基あり
瑞龍寺の御地

六角堂

六角の地蔵堂の表をり
造りしと云ふ
形をり
天正十一年六月廿五日

南山地蔵堂
化僧人何處より來りて一夜の間に
招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

招き出せ天下西原
五十五代文德帝
仁安元年未年

右の目録村々
山馬 地蔵堂
田の字あり
里民の城跡

田の中か如右五場安んじに石巻く柄草下物取万民ハ
 唐津城の比士屋敷に世に五丁し移しと云考中
 吾国時代のよりまゝハ石巻唐津城建築ハハ
 の事城之ーと思ふ
 仁壽元年石巻唐津城を築く云宮内省文書云仁壽元年石巻唐津城

△唐津市 寺部寺院ノ社

唐津市宗門法皇
 西山西院

三丁目
 ○子夜村

唐津市妙法寺
 長安山西入寺 上人
 横内三郎分 信房金

○戸刈村

戸刈山法皇御所分法皇寺
 古田寺三丁目分法皇寺古田
 唐津市

日
 ○北津村

古田寺
 定福寺 平
 日寺及古田 隆徳

八幡宮

唐津市所法皇御所分法皇寺
 唐津市

日
 ○楊津村

唐津市下法皇御所分
 觀音寺 日
 日寺及古田

日
 ○瀧村

唐津市下法皇御所分
 法皇御所分
 唐津市

日
 ○唐津村

唐津市下法皇御所分
 寶相寺 日
 日寺及古田

日
 ○唐津村

唐津市下法皇御所分
 法皇御所分
 唐津市

○赤池村

長尾村下... 赤池村

○北栄山

○北河村

南院寺

○野村

一雲山

○馬川村

大窪山

○期宮村

建光寺

○色名村

全剛寺

○早代村

河邊山

△宗云宗仙閣

○中尾村

中尾山

中尾村

○中尾村

○込野村

岩雲山

○七号村

桂林寺

○福島村

首座山

○西川村

宝光院

○天徳村

天徳山

○中尾村

延命寺

○中尾村

無名山

○奥村

葉師寺

○正陽寺村

地藏寺

○三子村

照照寺

○船形村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○五郎寺 平
○林形村 平
曹三郎正眼寺 平
○五郎寺 平
曹三郎正眼寺 平

○お保村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○月桂山地蔵寺 平
○五郎村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

△日蓮宗併之の部

○重中村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○妙光山為林寺 平
○大代村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

△海老島宗 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○大代村 平
曹三郎正眼寺 平

○山形村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○音宮寺 平
○大矢村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

○大塚村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○徳昌寺 平
○目比村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

○お代村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○宗願寺 平
○赤坂村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

○松名村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○報恩寺 平
○桂橋村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

○南麻生村 (曹) 曹三郎正眼寺 平
○普福寺 平
○登瀛村 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平
曹三郎正眼寺 平

○西溝口村

西二畝分
辰願寺 平
陸地

○甲新田

東五畝
甲新田山正琳寺 平
田八畝分

○氷室村

東五畝
淨福寺 日
田三畝十分

○甲新田

東五畝
蓮芳寺 日
田二畝分

○塩川村

東五畝
願應寺 日
不詳

○上丸瀬村

東五畝
本立寺 日
田二畝十分

○石起村

東三州徳曼寺 日
忠順寺 日
田三畝十分

○中丸瀬村

東五畝
誓玄寺 日
田三畝十分

○法三村

東三州花地寺 日
乃心寺 日
田三畝十分

○石丸瀬村

東五畝
布立寺 日
田三畝十分

○丸瀬村

東五畝
明春寺 日
田五畝十分

○三宅村

東五畝
智唯寺 日
田七畝十分

○沼袋村

東五畝
經花坊 日
田三畝十分

○坂田村

東五畝
延樂寺 日
田一畝八分

○片栗色村

東三州徳曼寺 日
東光寺 日
田七畝十分

○西丸瀬村

東五畝
崇樂寺 日
田五畝十分

○沼袋村

東五畝
光圓寺 日
田三畝十分

○西丸瀬村

東五畝
東山坊 日
田二畝十分

○井田村

東五畝
海念寺 日
田五畝十分

○柳井村

東三州徳曼寺 日
山守坊 日
田七畝十分

○天池村

高知多大徳光の古寺 平
同日畝分
東府下色徳寺

○柳屋村

高知府色徳寺 平
同日畝分
高知府色徳寺

法園寺

○海井村

同日畝分
同日畝分十九歩

○石山堂村

同日畝分
同日畝分

山徳寺

○平村

同日畝分
同日畝分二畝二十歩傍隆

○山崎村

同日畝分
同日畝分

松波寺

○馬場村

東直寺
同日畝分

○山崎村

同日畝分
同日畝分

正徳寺

○中野村

東府下色徳寺
同日畝分

○山崎村

同日畝分
同日畝分

安徳寺

○五郎村

高知三州徳光寺 平
同日畝分

○福徳村

高知三州徳光寺 平
同日畝分

因性寺

○五郎村

同日畝分
同日畝分

○氏長村

同日畝分
同日畝分

智福寺

○井口村

高知府色徳寺
同日畝分

○柳屋村

同日畝分
同日畝分

清徳寺

○陸田村

高知府色徳寺
同日畝分

○之根村

高知三州徳光寺 平
同日畝分

山崎村

○小池村

東直寺
同日畝分

○小倉村

高知府色徳寺
同日畝分

智福寺

○和室村

東三州 法光坊 日二畝分

○東宮三村

東三州 東宮三村 日一畝分

○本合村

東三州 本合村 日一畝分

○林野村

東三州 林野村 日一畝分

○南三井村

東三州 南三井村 日一畝分

○期新村

東三州 期新村 日一畝分

○石橋村

東三州 石橋村 日七畝十分

○串原村

東三州 串原村 日八畝分

○吉本村

東三州 吉本村 日三畝分

○橋本村

東三州 橋本村 日七畝分

○極方村

東三州 極方村 日一畝五分

○柳本村

東三州 柳本村 日一畝分

○三役村

東三州 三役村 日三畝分

○板倉村

東三州 板倉村 日一畝分

○日雲村

東三州 日雲村 日一畝五分

○蓮池村

東三州 蓮池村 日一畝分

○神前村

東三州 神前村 日一畝五分

○東五柳村

東三州 東五柳村 日八畝分

○橋本村

東三州 橋本村 日一畝分

○東五柳村

東三州 東五柳村 日七畝分

○和室村

東三州 和室村 日二畝分

○東宮三村

東三州 東宮三村 日一畝分

○本合村

東三州 本合村 日一畝分

○林野村

東三州 林野村 日一畝分

○南三井村

東三州 南三井村 日一畝分

○期新村

東三州 期新村 日一畝分

○石橋村

東三州 石橋村 日七畝十分

○串原村

東三州 串原村 日八畝分

○吉本村

東三州 吉本村 日三畝分

○橋本村

東三州 橋本村 日七畝分

○極方村

東三州 極方村 日一畝五分

○柳本村

東三州 柳本村 日一畝分

○三役村

東三州 三役村 日三畝分

○板倉村

東三州 板倉村 日一畝分

○日雲村

東三州 日雲村 日一畝五分

○蓮池村

東三州 蓮池村 日一畝分

○神前村

東三州 神前村 日一畝五分

○東五柳村

東三州 東五柳村 日八畝分

○橋本村

東三州 橋本村 日一畝分

○東五柳村

東三州 東五柳村 日七畝分

○五城村

東府下 智徳寺 年
同三畝分

○河原井村

東府下 空山寺 年
同三畝分

○松久村

東府下 津島寺 日
同七畝七分

○石井村

東府下 寂雲寺 日
同二畝分

○松久村

東府下 正岳坊 日
同三畝五分

○石井村

右同以寺 林蔵坊 日
同九畝分

○吉野村

右同以寺 金相寺 日
同三畝二分

○七村

右同以寺 安福寺 日
同九畝分

○河原井村

東府下 津法寺 日
同三畝分

○今村

東府下 光法坊 日
同三畝分

○島村

東府下 淨法寺 年
同三畝分

○福森村

東府下 生心堂寺 年
同三畝分

○毛野村

東府下 龍明寺 日
同三畝分
左に龍野境内にありて了り然らず
易に地名が今誤りその地内を記す

○島村

東府下 龍明寺 日
同三畝分

○結尾村

東府下 津法寺 日
同三畝七分

○奥村

東府下 了心堂寺 年
同三畝分

○右同邑

東府下 中ノ坊 年
同三畝四分

○地府村

東府下 雲閑寺 日
同三畝分

○福森村

東府下 礼徳寺 日
同三畝分

○地府村

東府下 法蓮寺 日
同三畝分

○^方 小常稻田 古之尾南郷 平
日七畝分 信成寺 年
○ 刈安度稻田
日一五畝分 正念寺 平

○^方 馬島村 東正寺
日六畝七分 敬意寺 日
○ 祖文江村 東正寺
日三畝分 光当寺 日

○ 馬島村 東三州御倉
日七畝七分 延徳寺 日
○ 下祖父江村 東府下
日三畝分 徳明寺 日

○^方 宮後村 東府下
日三畝分 郷玄寺 日
○ 右田邑 東正寺
日七畝分 妙用寺 日

○^方 本神村 東府下
日三畝分 蓮西寺 日
○ 右田村 東正寺
日三畝分 慈雲寺 日

○ 下祖父江 東正寺
日三畝分 圓徳寺 年
○ 妙興寺 東正寺
日三畝分 徳法寺 日

○ 右田村 東正寺
日三畝分 本徳寺 日
○ 花井方村 東正寺
日三畝分 淨光寺 日

本州神名帳集 既出社地不取勿部

○^{或日} 從三位見繁天神
○^日 從三位計徳天神
○^日 從三位波蘇伎天神
○^{或日} 從三位波蘇伎天神
○^{或日} 從三位波蘇伎天神
命也所蘇与波蘇語通

○從三位細陰湯夜天神

一作除治年長名號神能私曰因造
命之世孫知深夜命之蓋計命歟

○從二位小塞天神

一作尾塞門間古中園村今存今葉栗
存有極本出の湯歟

○從三位石乃天神

一作石乃備前中津郡石乃別天神社
所傳名方船名石乃別倉比賣神社等曰神
歟

○從三位室原天神

一作室原命大端神命ノ事
今略水字ノ事

○從三位大日天神

一作作川向

○從三位川曲天神

一作瓶井川向名使井村八社在歟
之屋多栗原

○從三位淺井天神

坂垣安媛神也万葉集云垣安乃池之
堤ト云々傍中紀曰景雲三年淺井
蓋當時為堤防法獲給母神歟

○從三位堤治天神

海部中島二郡大水ト云々

若狹邊豐受別宮古宮亦為禰地前山宗祀也

○從三位千登天神

○從三位垣外天神

○從三位御裳天神

一作
御母

○從三位藤原天神

○從三位標江天神

大柘原市野枝村平今屬美濃也
姓氏入源曰物部饒速日命三世孫物部
布都久員大連之後也ト云々本州古物部長
多矣故當郡及春日并愛智等ト云々物
部有

○從三位少盛天神

傳名柳原島郡西郡ト云々今若狹有司
之傳當郡廿一社百三十三社而無西郡村
蓋其其所統平按美濃西見

○從三位齒部天神

郡 諸部 神社 同神乎

○從三位赤竹天神

○從三位石門天神

(私云明子門警繁乃蓋石門天神 重出歟)

○八幡宮 神祇社

中清村 (本社自三反三畝)

○天神 白山宮

同村 (本社自三反三畝)

○八幡宮

林建村 (祭八月十五日馬定)

○神祇宮 祭八月十五日馬定

同村 (本社自三反三畝)

○八幡宮 同八月十五日馬定

同村 (本社自三反三畝)

○氏神 同八月十五日馬定

同村 (本社自三反三畝)

○天照左御子

(按社在左右三三三)

北谷村 神主 菅川之馬

○天五社

菅川之馬

○天五社

楊津村 (本社自三反三畝)

○白鬘大神

(祭八月十五日)

出津村 (本社自三反三畝)

○八幡 天神 神明

同村 (本社自三反三畝)

○白山 天神 権現

三津村 (本社自三反三畝)

○地藏堂 一寺

北谷村 (本社自三反三畝)

○高儀大明神 権現社

菅川之馬

○天王 庚申堂

赤池村

○明神 縣宮 勢田社

長野村

菅川之馬

○三社文

○親善堂一守

○神戶社

○稻荷社

○八幡文

○白鬚大御神

○八幡文

○神戶社

○神戶社

○正一位大御神

中池部寺村 (社内三反五分除
月村部寺村)

同所 同寺社

物官村 社地一反五分總不入

西川村 (社内五分分
同村部寺社)

上牧村 社地二分分

白雲村 社地二分分

大物村 社内三分分

柳右衛門村 社内五分分

藤田村 (社内五分分
前寺社)

坊也起村 社内五分分

○神戶社 本祀御神

○福大御神 神戶文

○白山宮 多井

○大御神

○貴舟御神

○三社 (八社御神
天王御神) 多井

○神の社 親善堂一守

○神明宮

○天神社

奥村 (社内五分分
除同部寺社)

井部村 (社内五分分
社人部)

今村

水家村

丹波村

建前村 社内五分分

馬引村 社内五分分

法衣寺村 (社内五分分
社人部)

○ 德聖神社

祭日廿二日
湯立あり

海防神社

為全権祝

稲倉神社

為全権祝

芝名神社

為全権祝

為全権祝

○ 八幡宮

八月廿三日 馬三元引 御祭

○ 五里神社

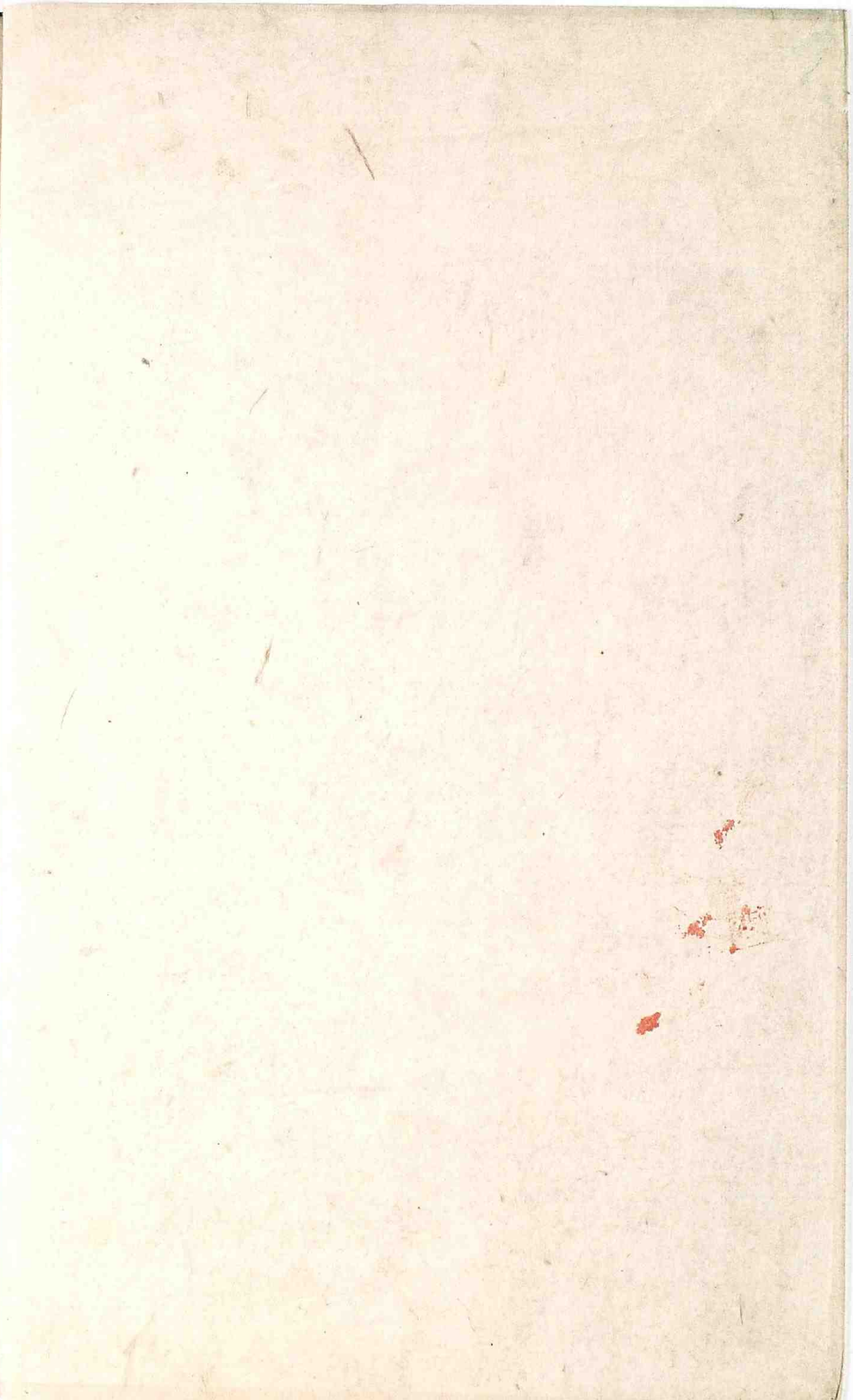
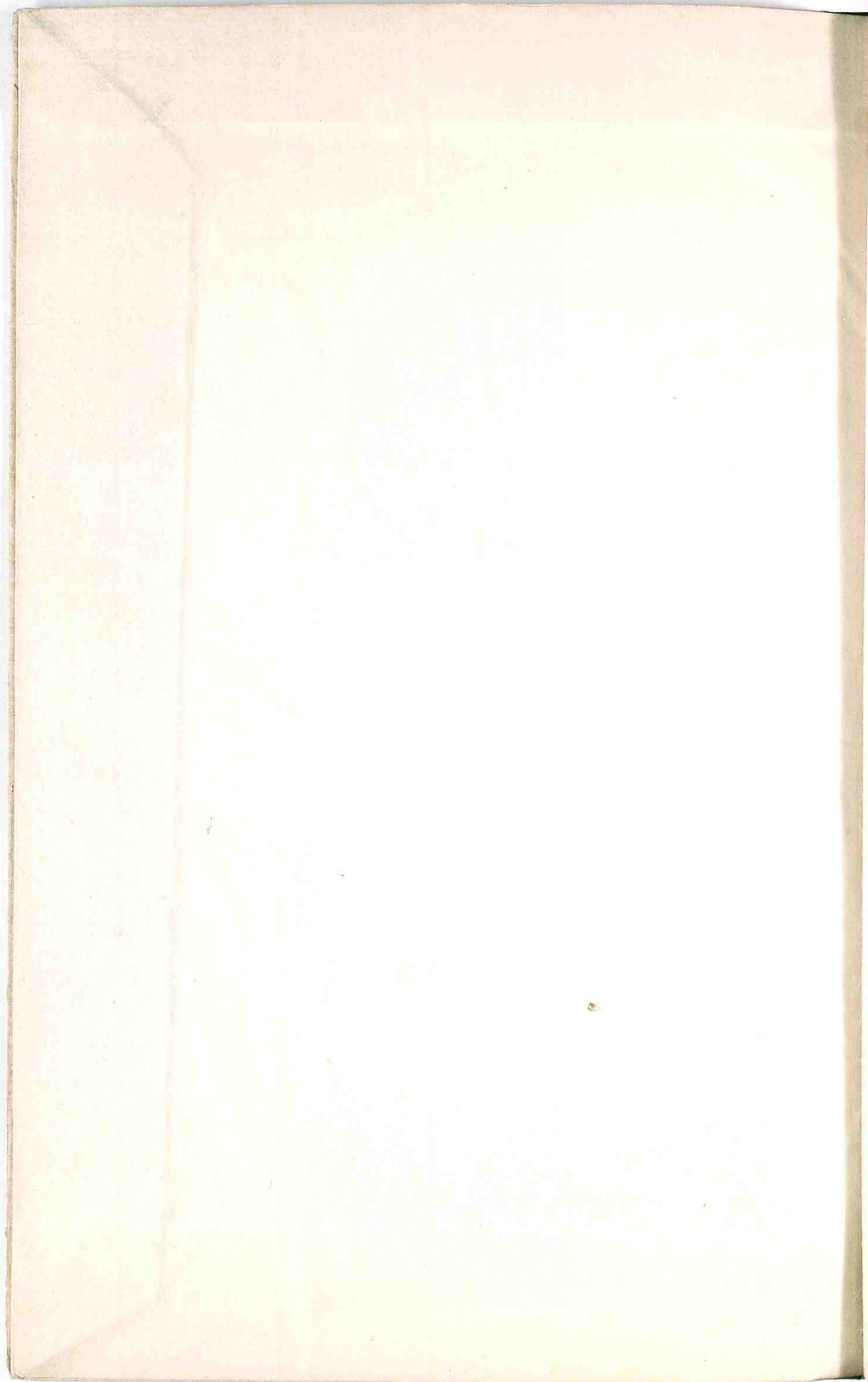
和山廣野村之御祭村
元敷あり 五里廿五日
神社御祭村御祭あり

一ノ宮村

四村御祭祝

五神村

四村御祭
御祭あり



愛 知 県



1103269522